TEAC

OPCDP750TEA04

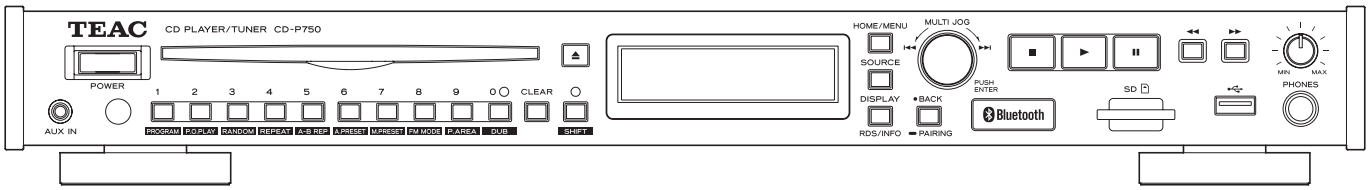
CD-P750

取扱説明書

CD PLAYER /TUNER

ティアック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。
末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

取扱説明書 (本書) は、TEAC ウェブサイト（https://teac.jp/jp/）からダウンロードすることができます。



Qualcomm® aptX™ HD

Bluetooth®

安全にお使いいただくために

⚠ **警告**	**以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
 電源プラグをコンセントから抜く	**万一、異常が起きたら** **煙が出たり、変なにおいや音がするときは** **機器の内部に異物や水などが入ったときは** **この機器を落としたり、カバーを破損したときは** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）に修理をご依頼ください。
 指示	**電源プラグにほこりをためない** 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的（年1回くらい）に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。
	接地接続は、必ず主電源プラグを主電源に繋ぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず主電源プラブを主電源から切り離してから行ってください。
 禁止	**電源コードを傷つけない** **電源コードの上に重い物を載せたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない** **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近付けて加熱したりしない** コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら（芯線の露出、断線など）、販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）に交換をご依頼ください。
	付属の電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。
	交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し（20cm 以上）離して設置する **ラックなどに入れるときは、機器の天面から 5cm 以上、背面から 10cm 以上の隙間を空ける** 隙間を空けないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込む、または落とさない 火災・感電の原因となります。
	この機器の通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
 禁止	**機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない** 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。
 分解禁止	**この機器のカバーは絶対に外さない** カバーを外す、または改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご依頼ください。
	この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。

警告	**以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
 注意	イヤホンやヘッドホンからの過度の音圧は、聴覚障害の原因となります。聴覚障害の可能性を防ぐために、長時間, 高音量で聴かないでください。

注意	**以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**
 電源プラグをコンセントから抜く	**移動させる場合は、電源をオフにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す** コードが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。
 指示	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続する** **また、接続は指定のコードを使用する**
	電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て、聴覚障害などの原因となることがあります。
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。
	この機器には、付属の電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。
 禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たる場所に置かない** 火災・感電やけがの原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。
 禁止	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因となることがあります。
 注意	5年に1度は、機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご相談ください。 内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。

電池の取り扱いについて

本機に付属するワイヤレスリモコンは、電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどを避けるため、以下の注意事項を必ず守ってください。

⚠ **警告** 乾電池に関する警告	
禁止	**乾電池は絶対に充電しない** 破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。

⚠ **警告** 電池に関する警告	
強制	**電池を入れるときは、極性表示（プラスとマイナスの向き）に注意し、電池ケースに表示されている通りに正しく入れる** 間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	長時間使用しないときは電池を取り出しておく 液が漏れて火災・けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液が漏れた場合は、電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一漏れた液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。
禁止	**指定以外の電池は使用しない** **新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない** 破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損することがあります。
	炎天下の車内や暖房器具のそばなど、温度が高くなる所で保管しない 本体の変形によるショートや発火、故障、電池の劣化の原因となります。

⚠ **注意** 電池に関する注意	
禁止	**金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない** ショートして液漏れや破裂などの原因となることがあります。
	電池を熱したり、火または水に投げ入れたりしない 電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
分解禁止	**分解しない** 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。
注意	保管や廃棄をする場合は、他の電池や金属の物と接触しないようにテープなどで端子を絶縁してください。
	使い終わった電池は、電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村の廃棄方法にしたがって捨ててください。

目次

安全にお使いいただくために 2
第 1 章　はじめに 6
本機の概要 6
付属品 6
本書の表記 6
商標および著作権に関して 7
設置上の注意 7
電源について 7
結露について 7
製品のお手入れ 7
CD（コンパクトディスク）について 8
取り扱い上の注意 8
スロットインタイプのディスクの挿入 8
SD カード／ USB メモリーについて 8
取り扱い上の注意 8
SD カードのライトプロテクトについて 8
電波について 9
Bluetooth® 無線通信について 9
プロファイル 9
コーデック 9
コンテンツ保護 9
通信セキュリティ 9
ユーザー登録について 9
第 2 章　各部の名称と働き 10
フロントパネル 10
リアパネル 12
ワイヤレスリモコン（RC-1336） 13
ホーム画面 14
メニューの構成 14
Menu 画面の基本操作 15
メニュー操作の手順 15
第 3 章　準備 16
接続する 16
AM アンテナの組み立て方 16
リモコンを準備する 17
乾電池の入れ方 17
乾電池の交換時期 17
乾電池についての注意 17
ワイヤレスリモコンを使う 17
電源のオン／オフ 17
ディスプレーの輝度調節する 17
ディスクを挿入する／取り出す 18
ディスクを挿入する 18
ディスクを取り出す 18
ディスクの強制排出 18
SD カードを挿入する／取り出す 18
SD カードを挿入する 18
SD カードを取り出す 18
SD カードのライトプロテクトスイッチについて 18
USB メモリーを挿入する／取り外す 19
USB メモリーを挿入する 19
USB メモリーを取り外す 19
再生するソースを選択する 19
第 4 章　CD ／ SD ／ USB の再生 20
再生可能なファイル 20
SD カード／ USB メモリーのトラックと
フォルダーについて 20
再生対象 21
再生対象を設定する 21
再生の基本操作 21
再生する 21
再生するトラックを選択する 21
前後のトラックにスキップする 21
トラックを直接指定する 22
フォルダー再生（SD カード／ USB メモリーのみ） 22
再生モード 23
再生モードを設定する 23
早戻し／早送りサーチ 24
リピート再生機能を使う 24
通常のリピート再生の設定 24
A-B リピート再生の設定（オーディオ CD のみ） 24
プログラム再生（オーディオ CD のみ） 25
プログラムを設定する 25
プログラムを確認するまたは修正する 25
プログラムステップを消去する 26
プログラムステップの追加 26
プログラムの消去 26
パワーオンプレーをする 26
リジューム再生機能を使う 27
時間や文字情報の表示 27
第 5 章　Bluetooth 機器の再生 28
ペアリング 28
コントロール範囲 28
Bluetooth 機器の再生 28
ペアリングの解除 28
第 6 章　FM ／ AM ラジオを聴く 29
受信する放送局を選択する 29
受信周波数を変更する 29
FM モードを設定する 29
放送局をプリセットする 29
放送局を自動でプリセットする 29
放送局を手動でプリセットする 29
プリセットした放送局を選ぶ 30
プリセットしたメモリーを消去する 30
チューナーの放送音声の出力先を設定する 30
第 7 章　ダビング（コピー）機能 31
ダビングの概要 31
ダビングする 31
ダビング時のアナログ出力をミュートする 32
ダビングフォーマットの設定 32
ダビングによる記録時間について 32
第 8 章　その他の機能 33
オートパワーセーブ機能の設定 33
アナログ出力レベルを調節する 33
AUX IN 端子を使う 33
ファームウェアバージョンを確認 33
出荷時の設定に戻す 33
第 9 章　トラブルシューティング 34
第 10 章　仕様 35
定格 35
入出力定格 35
アナログオーディオ入出力定格 35
DIGITAL OUT 端子 35
オーディオ性能 35
Bluetooth 部 35
チューナー 36
一般 36
寸法図 36

第1章　はじめに

本機の概要

- CD ／ SD カード／ USB メモリーからの再生が可能
- CD プレーヤーとして CD-DA、CD-ROM ／ CD-R ／ CD-RW、MP3-CD、WMA-CD に対応（CD-RW は、CD-DA のみ）
- SD ／ USB メモリープレーヤーとして MP3 ／ AAC ／ WAV ／ WMA ファイルの再生が可能
- Bluetooth® レシーバーを搭載し、スマートフォンなどからの再生が可能
- AM ／ FM チューナーを搭載
- AUX IN 端子を装備し、携帯音楽プレーヤーなどからの再生が可能
- アナログ出力は、RCA アンバランス端子を装備
- オーディオ CD やチューナーから SD カードまたは USB メモリーへの録音が可能
- RCA アンバランスのチューナー専用出力端子を装備
- 10 キーパッドまたは専用リモコンによる CD ／ SD ／ USB のダイレクトトラックサーチが可能
- 電源投入で、自動的にトラックの再生を開始するパワーオンプレイ機能
- ヘッドホン出力端子を装備し、音声のモニターが可能
- 最大 32 曲をプログラムメモリーに登録可能

付属品

万一付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店、または弊社 AV お客様相談室 (裏表紙に記載) にご連絡ください。

電源コード x 1
ワイヤレスリモコン（RC-1336）x 1
単 4 形乾電池 x 2
FM アンテナ x 1
AM アンテナ x 1
取扱説明書（本書、保証書付き）x 1
RCA ケーブル x 1

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機および外部機器のボタン／端子などを「**HOME/MENU** ボタン」のように太字で表記します。
- ディスプレーに表示される文字を `Menu` のように表記します。
- 「SD/SDHC メモリーカード」のことを「SD カード」と表記します。
- 「USB フラッシュドライブ」のことを「USB メモリー」と表記します。
- 「CD-DA」形式のことを「オーディオ CD」形式と表記する場合があります。また、オーディオ CD 形式のトラックを記録した CD を「オーディオ CD」と表記する場合があります。
- MP3 ファイルや WMA ファイルを記録した CD を「データ CD」と表記します。
- 現在選択中の入力ソースのことを「カレントソース」と表記します。
- 現在選択中のフォルダーのことを「カレントフォルダー」と表記します。
- 本機と Bluetooth で接続するパソコンやポータブルオーディオ機器などを「Bluetooth 機器」と表記します。
- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

ヒント

本機をこのように使うことができる、といったヒントを記載します。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などをします。

注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

商標および著作権に関して

- TASCAM およびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- SDHC ロゴは、SD-3C, LLC の商標です。



- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の所有物であり、ティアック株式会社は許可を受けて使用しています。
- Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies, Inc. and/or its subsidiaries.
- Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries. aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries.



- Supply of this product does not convey a license nor imply any right to distribute MPEG Layer-3 compliant content created with this product in revenue-generating broadcast systems (terrestrial, satellite, cable and/or other distribution channels), streaming applications (via Internet, intranets and/or other networks), other content distribution systems (pay-audio or audio-on-demand applications and the like) or on physical media (compact discs, digital versatile discs, semiconductor chips, hard drives, memory cards and the like). An independent license for such use is required. For details, please visit http://mp3licensing.com.
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

ここに記載されております製品に関する情報、諸データは、あくまで一例を示すものであり、これらに関します第三者の知的財産権、およびその他の権利に対して、権利侵害がないことの保証を示すものではございません。従いまして、上記第三者の知的財産権の侵害の責任、またはこれらの製品の使用により発生する責任につきましては、弊社はその責を負いかねますのでご了承ください。

第三者の著作物は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。装置の適正使用をお願いします。
弊社では、お客様による権利侵害行為につき一切の責任を負担致しません。

設置上の注意

- 本機の動作保証温度は、摂氏 5 度～ 35 度です。
- 次のような場所に設置しないでください。音質悪化の原因、または故障の原因となります。

  振動の多い場所
  窓際などの直射日光が当たる場所
  暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所
  極端に温度が低い場所
  湿気の多い場所や風通しが悪い場所
  ほこりの多い場所
- 本機は、水平に設置してください。
- 放熱をよくするために、本機の上には物を置かないでください。
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上に本機を置かないでください。

電源について

- 付属の電源コードを AC IN 端子に奥までしっかりと差し込んでください。
- AC100V（50-60Hz）以外の電源には、接続しないでください。
- 電源コードの抜き差しは、プラグを持って行ってください。

結露について

本機を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、約 1 ～ 2 時間放置してから電源を入れてお使いください。

製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。化学ぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を傷める、または色落ちさせる原因となります。

CD（コンパクトディスク）について

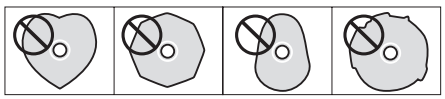
本機は、市販の音楽 CD のほかに、オーディオ CD（CD-DA）形式で記録した CD-R や CD-RW ディスク、MP3 オーディオファイルを記録した CD-R ／ CD-RW ディスクを再生することができます。

注意

8cmCD は、使用できません。8cmCD を挿入した場合には、自動的に排出されます。排出時に、取り出せない場所で止まってしまった場合は、**EJECT(▲)** ボタンを押し続けてください。

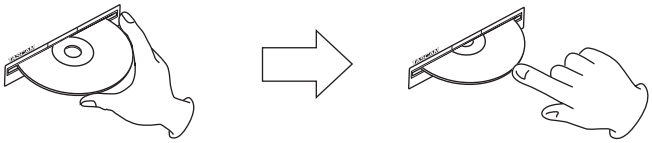
取り扱い上の注意

- ディスクは、必ずレーベル面を上にして挿入してください。
- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手で挟むように持ってください。
- 信号録音面（レーベルがない面）には、触れないでください。指紋や脂などが付着していると、再生するときにエラーの原因になることがあります。
- 信号録音面に指紋やほこりが付いたら、柔らかい布を使って中心から外側に向かって軽く拭いてください。
- ディスクの汚れは音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。
- ディスクの清掃に、レコードクリーナー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどの化学薬品を使用することは絶対お止めください。表面が変質して再生不能になる恐れがあります。
- ディスクにラベルなどを貼ることはおやめください。盤面にセロハンテープやレンタル CD のシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなる、または故障の原因となることがあります。
- 市販の CD 用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。
- 再生できない、または故障の原因になります。
- ヒビが入ったディスクは使用しないでください。
- ハート形や名刺形、八角形など特殊形状の CD は、機器の故障の原因になりますので使用しないでください。



- いくつかのレコード会社より「コピーコントロール CD」と銘打った著作権保護を目的としたディスクが販売されています。これらは CD 規格に則っていないディスクも存在するため、本機で再生できない場合があります。

スロットインタイプのディスクの挿入



1. 図のようにレーベル面を上にしてディスクの側面を持って、途中までディスクを挿入してください。
2. さらにディスクを押していくと、ディスクが挿入口に隠れる直前で自動的に引き込まれます。

ディスクがうまく入らないとき

ディスクが引っ掛かるなど、押しにくいときは、無理に押し込まずに一度ディスクを抜いて **EJECT(▲)** ボタンを押してから、入れ直してください（無理に押し込むと、製品を破損する場合があります）。

SD カード／ USB メモリーについて

本機では、SD カード／ USB メモリーを使って録音や再生を行います。

取り扱い上の注意

SD カード／ USB メモリーは、精密にできています。
SD カード／ USB メモリーの破損を防ぐため、取り扱いに当たって以下の点をご注意ください。

- 極端に温度の高いあるいは低い場所に放置しないこと。
- 極端に湿度の高い場所に放置しないこと。
- 濡らさないこと。
- 上に物を載せたり、ねじ曲げたりしないこと。
- 衝撃を与えないこと。
- 録音、再生状態やデータ転送などアクセス中に、抜き差しを行わないこと。
- 持ち運ぶ際、メモリーカードケースなどに入れて運ぶこと。

SD カードのライトプロテクトについて

本機は動作上のパフォーマンスを向上のために、トラック情報をメディアに書き込みます。ライトプロテクトをされた SD カードにはトラック情報の書き込みができないため、メディアの読み込み時間が長くなるなどの影響が出ます。

電波について

- 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
  - 分解／改造すること
  - 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと



2.4：2.4GHz 帯を使用する無線機器です。
FH：FH-SS 変調方式を表します。
1：与干渉距離は 10m です。
本製品は、日本国内でのみご使用ください。

- 本機は電波を使用しているため、第三者が故意または偶然に傍受することが考えられます。
  重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。
  通信時に、データや情報の漏洩が発生しても責任を負いかねます。予めご了承ください。
- 次の場所では本機を使用しないでください。
  再生音が途切れたり、ノイズが出る場合があります。
  - 2.4GHz 用周波数帯域を利用する、無線 LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話、Bluetooth などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
  - ラジオ、テレビ、ビデオ機器、BS ／ CS チューナーなどのアンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。

本機使用上の注意

本機の使用周波数は 2.4GHz 帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、免許を要する工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局や免許を要するアマチュア無線局などが運用されています。
他の機器との干渉を防止するために、以下の点に十分ご注意いただきご使用ください。

- 本機を使用する前に、近くで他の無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機と他の無線局との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、使用を停止してください。
- 不明な点その他にお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売店またはタスカム カスタマーサポート（巻末に記載）へお問い合わせください。

Bluetooth® 無線通信について

本機は、Bluetooth オーディオレシーバーを搭載しており、Bluetooth 無線通信に対応したパソコンやポータブルオーディオ機器（Bluetooth 機器）の再生音声を出力できます。

注意

本機の Bluetooth 機能について、全ての Bluetooth 機器との接続や動作を保証するものではありません。

プロファイル

本機は、以下の Bluetooth プロファイルに対応しています。

- A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）
- AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile）

Bluetooth で音声伝送を行うには、Bluetooth 機器が A2DP に対応している必要があります。
Bluetooth 機器の再生を制御するには、Bluetooth 機器が AVRCP に対応している必要があります。
ただし、同じプロファイルに対応していても、Bluetooth 機器の仕様により、機能が異なる場合があります。

コーデック

本機は、以下のコーデックに対応しており、音声伝送時にいずれかのコーデックを自動選択します。

- SBC
- AAC
- Qualcomm®aptX ™ audio
- Qualcomm®aptX ™ HD audio

使用するコーデックは、Bluetooth 機器のコーデック対応や通信状況に応じて適切に選択します。

メモ

- 使用するコーデックは、ボタン操作などで選択することはできません。
- Bluetooth 無線技術の特性により、Bluetooth 機器の再生に比べて本機側での再生がわずかに遅れます。

コンテンツ保護

本機は、音声伝送時のコンテンツ保護として SCMS-T に対応しており、保護された音声を再生できます。

通信セキュリティ

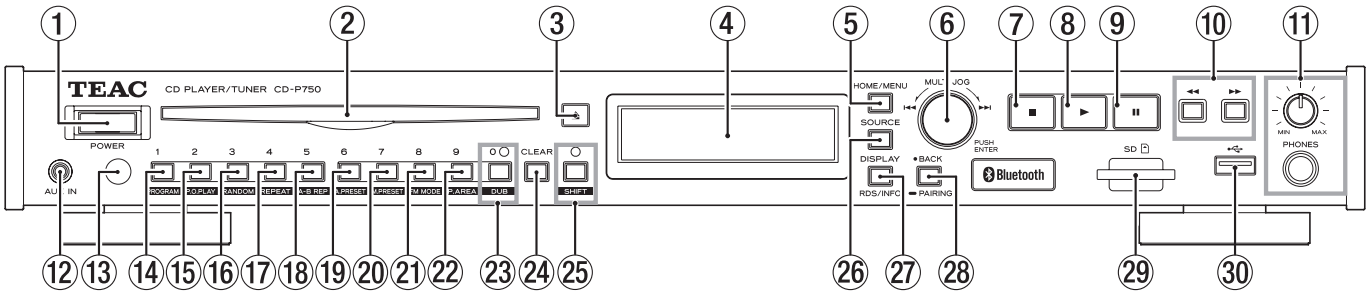
本機は、Bluetooth 通信で Bluetooth の標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、通信の秘匿性を保障するものではありません。
Bluetooth での通信で情報の漏洩が発生しましても、弊社は一切の責任を負いかねます。

ユーザー登録について

TEAC のウェブサイトにて、オンラインでのユーザー登録をお願いいたします。

https://teac.jp/jp/signup

フロントパネル



① POWER スイッチ

電源のオン／オフを行います。

注意

電源を入れる前には、接続機器の音量を最小にしてください。
突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

メモ

本機が動作中（ダビング中、再生中、SD カード／ USB メモリーにデータを書き込み中など）には電源をオフにしないでください。ダビングが正しく行われなかったり、ダビングしたデータが破損したりする可能性があります。

② ディスク挿入口

ディスクを挿入します。
ディスクの一部を挿入すると自動的に引き込まれます。

③ EJECT(▲) ボタン

ディスクを取り出すときに押します。（→ 18 ページ「ディスクを挿入する／取り出す」）
10 秒以上押し続けると、強制排出を行います。（→ 18 ページ「ディスクの強制排出」）

④ ディスプレー

各種情報を表示します。

⑤ HOME/MENU ボタン

- ホーム画面を表示中に押すと Menu 画面を表示します。（→ 14 ページ「メニューの構成」）、（→ 15 ページ「Menu 画面の基本操作」）
- Menu 画面およびメニュー項目の設定画面を表示中に押すと、ホーム画面に戻ります。

⑥ MULTI JOG ダイヤル

このダイヤルは、回して使うホイール機能と押して使うボタン機能を兼ね備えています。

[ホイール機能]

- カレントソースが CD ／ USB ／ SD で、再生対象が「全て」のときに MULTI JOG ダイヤルを回すと、トラックをスキップします。（→ 21 ページ「前後のトラックにスキップする」）
- カレントソースが USB または SD で、再生対象が「フォルダー（ アイコン表示）」のときに MULTI JOG ダイヤルを回すと、トラックまたはフォルダーを移動します。（→ 22 ページ「フォルダー再生（SD カード／ USB メモリーのみ）」）
- カレントソースが FM ／ AM のときに MULTI JOG ダイヤルを回すと、受信周波数を変更します。（→ 29 ページ「受信する放送局を選択する」）
- カレントソースが FM ／ AM で、プリセットモードのときに MULTI JOG ダイヤルを回すと、手前または次のプリセット番号に移動します。（→ 29 ページ「放送局をプリセットする」）
- Menu 画面表示中、メニュー項目の選択や設定値の選択を行います。（→ 15 ページ「Menu 画面の基本操作」）
- 本体の SHIFT ボタンを押しながら MULTI JOG ダイヤルを回すと、ディスプレーの輝度を調節できます。（→ 17 ページ「ディスプレーの輝度調節する」）

[ボタン機能]

- メニュー画面表示中、選択や設定を確定します（ENTER ボタン機能）。

⑦ STOP(■) ボタン

- 再生を停止します。
- カレントソースが FM ／ AM のとき、周波数モードとプリセット選択モードを切り換えます。（→ 29 ページ「受信周波数を変更する」）
- ダビング中、ダビングを終了します。（→ 31 ページ「ダビングする」）

⑧ PLAY(►) ボタン

- 停止中または再生待機中に押すと、再生を開始します。

⑨ PAUSE(❚❚) ボタン

停止中または再生中に押すと、再生待機状態になります。

⑩ ◄◄ ／ ►► [FAST] ボタン

- このボタンを押している間、早戻し／早送りサーチを行います。（→ 24 ページ「早戻し／早送りサーチ」）
- カレントソースが CD または USB ／ SD で、早戻し／早送りサーチ中に逆方向の ◄◄ ボタンまたは ►► ボタンを押し続けると高速早戻し／早送りサーチを行います。（→ 24 ページ「早戻し／早送りサーチ」）
- カレントソースが FM ／ AM のときに押すと、周波数モードの受信周波数をオートサーチします。（→ 29 ページ「受信周波数を変更する」）

⑪ PHONES 端子／つまみ

ステレオヘッドホンを接続するためのステレオ標準ジャックです。
ミニプラグのヘッドホンを接続する場合は、変換アダプターをご使用ください。
PHONES つまみでヘッドホン出力レベルを調節します。
PHONES 端子からの出力は、A.Out Att. 設定画面の設定により − 18dB まで 1dB 刻みで下げることができます。（→ 33 ページ「アナログ出力レベルを調節する」）

注意

ヘッドホンを接続する前には、PHONES つまみで音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

⑫ AUX IN 端子

ステレオミニジャックのオーディオライン入力端子です。
ポータブルデジタルプレーヤーなどの外部オーディオ機器を接続します。（→ 33 ページ「AUX IN 端子を使う」）

注意

- 外部機器を AUX IN 端子に接続する前には、外部機器の音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
- AUX IN 端子への抜き差しをする際は、カレントソースを AUX 以外（CD もしくは Bluetooth）に変更するか、本機の電源をオフにしてから行ってください。

⑬ **リモコン受光部**
付属のワイヤレスリモコン（RC-1336）の信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。

⑭ **1 [PROGRAM] ボタン**
- カレントソースが CD または USB ／ SD で、再生対象が「全て」のときに押すと、トラック番号を指定する「 1 」が入力されます。（→ 22 ページ「トラックを直接指定する」）
- カレントソースが FM ／ AM のときに押すと、プリセットした放送局を呼び出します。
- カレントソースが CD で、本体がシフトモード（SHIFT インジケーター点灯）のときに押すと、プログラム設定モードになります。プログラム済みの場合は、プログラムの確認と修正ができます。（→ 25 ページ「プログラムを設定する」）

メモ

- 本体の数字ボタン（1 [PROGRAM] ボタン～ 0 [DUB] ボタン）を使ってトラック番号を指定して選曲することができます。トラック番号は、オーディオ CD の場合は最大 2 桁、データ CD の場合は最大 3 桁です。（→ 22 ページ「トラックを直接指定する」）
- シフトモード（SHIFT インジケーター点灯）のときに数字ボタンを押すと、ボタンの下に白抜きで表示されている機能の設定の変更を行います。

⑮ **2 [P.O.PLAY] ボタン**
- カレントソースが CD または USB ／ SD で、再生対象が「全て」のときに押すと、トラック番号を指定する「 2 」が入力されます。（→ 22 ページ「トラックを直接指定する」）
- カレントソースが FM ／ AM のときに押すと、プリセットした放送局を呼び出します。
- シフトモード（SHIFT インジケーター点灯）のときに押すと、パワーオンプレー機能をオン／オフします。（→ 26 ページ「パワーオンプレーをする」）

⑯ **3 [RANDOM] ボタン**
- カレントソースが CD または USB ／ SD で、再生対象が「全て」のときに押すと、トラック番号を指定する「 3 」が入力されます。（→ 22 ページ「トラックを直接指定する」）
- カレントソースが FM ／ AM のときに押すと、プリセットした放送局を呼び出します。
- カレントソースが CD ／ USB ／ SD で、シフトモード（SHIFT インジケーター点灯）のときに押すと、再生モード（通常再生、ランダム再生）を切り換えます。

⑰ **4 [REPEAT] ボタン**
- カレントソースが CD または USB ／ SD で、再生対象が「全て」のときに押すと、トラック番号を指定する「 4 」が入力されます。（→ 22 ページ「トラックを直接指定する」）
- カレントソースが FM ／ AM のときに押すと、プリセットした放送局を呼び出します。
- カレントソースが CD ／ USB ／ SD で、シフトモード（SHIFT インジケーター点灯）のときに押すと、リピート再生モード（通常再生、1 曲リピート、全曲リピート）を切換えます。（→ 24 ページ「通常のリピート再生の設定」）

⑱ **5 [A-B REP] ボタン**
- カレントソースが CD または USB ／ SD で、再生対象が「全て」のときに押すと、トラック番号を指定する「 5 」が入力されます。（→ 22 ページ「トラックを直接指定する」）
- カレントソースが FM ／ AM のときに押すと、プリセットした放送局を呼び出します。
- カレントソースが CD で、シフトモード（SHIFT インジケーター点灯）のときに押すと、A-B リピート機能の支点（A）と終点（B）を設定します。（→ 24 ページ「A-B リピート再生の設定（オーディオ CD のみ）」）

⑲ **6 [A. PRESET] ボタン**
- カレントソースが CD または USB ／ SD で、再生対象が「全て」のときに押すと、トラック番号を指定する「 6 」が入力されます。（→ 22 ページ「トラックを直接指定する」）
- カレントソースが FM ／ AM のときに押すと、プリセットした放送局を呼び出します。
- カレントソースが FM ／ AM で、シフトモード（SHIFT インジケーター点灯）のときに押すと、放送局を自動でプリセットします。（→ 29 ページ「放送局を自動でプリセットする」）

⑳ **7 [M.PRESET] ボタン**
- カレントソースが CD または USB ／ SD で、再生対象が「全て」のときに押すと、トラック番号を指定する「 7 」が入力されます。（→ 22 ページ「トラックを直接指定する」）
- カレントソースが FM ／ AM のときに押すと、プリセットした放送局を呼び出します。
- カレントソースが FM ／ AM で、シフトモード（SHIFT インジケーター点灯）のときに押すと、放送局を手動でプリセットします。（→ 29 ページ「放送局を手動でプリセットする」）

㉑ **8 [FM MODE] ボタン**
- カレントソースが CD または USB ／ SD で、再生対象が「全て」のときに押すと、トラック番号を指定する「 8 」が入力されます。（→ 22 ページ「トラックを直接指定する」）
- カレントソースが FM ／ AM のときに押すと、プリセットした放送局を呼び出します。
- カレントソースが FM で、シフトモード（SHIFT インジケーター点灯）のときに押すと、FM 放送受信時のステレオとモノラルを切り換えます。（→ 29 ページ「FM モードを設定する」）

㉒ **9 [P. AREA] ボタン**
- カレントソースが CD または USB ／ SD で、再生対象が「全て」のときに押すと、トラック番号を指定する「 9 」が入力されます。（→ 22 ページ「トラックを直接指定する」）
- カレントソースが FM ／ AM のときに押すと、プリセットした放送局を呼び出します。
- カレントソースが USB ／ SD でシフトモード（SHIFT インジケーター点灯）のときに押すと、再生対象を設定します。（→ 21 ページ「再生対象を設定する」）

㉓ **0 [DUB] ボタン／インジケーター**
- カレントソースが CD または USB ／ SD で、再生対象が「全て」のときに押すと、トラック番号を指定する「 0 」が入力されます。（→ 22 ページ「トラックを直接指定する」）
- カレントソースが FM ／ AM のときに押すと、プリセットした放送局を呼び出します。
- カレントソースが CD で停止中、またはカレントソースが FM ／ AM で停止中、シフトモード（SHIFT インジケーター点灯）のときに押すと、ダビング（コピー）の準備を開始します。ダビング（コピー）機能動作中は、このインジケーターが点灯します。（→ 31 ページ「ダビングする」）

㉔ CLEAR ボタン
- カレントソースが CD ／ USB ／ SD のとき、数字ボタンを使って入力した値をクリアします。
- ホーム画面に警告メッセージを表示したときに押すと、メッセージを消去しホーム画面に戻します。
- カレントソースが FM ／ AM のときに押し続けると、プリセットしたメモリーを消去します。（→ 30 ページ「プリセットしたメモリーを消去する」）

㉕ SHIFT ボタン／インジケーター
このボタンを押してインジケーターを点灯させるとシフトモードになり、シフト機能（各ボタンの下に紺地に白抜き文字で表示）を持つ他のボタンの働きがシフト機能になります。
シフトモードを解除（SHIFT インジケーター消灯）するには、再度 SHIFT ボタンを押します。
シフト機能を使うとシフトモードは解除されます。

㉖ SOURCE ボタン
カレントソースを切り換えます。（→ 19 ページ「再生するソースを選択する」）

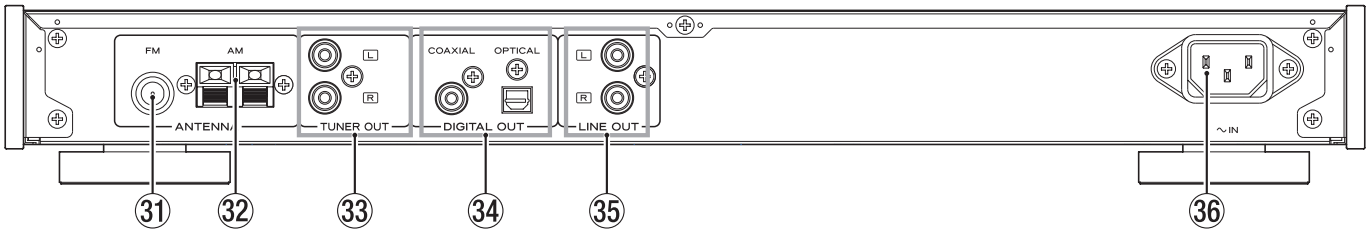
㉗ DISPLAY ボタン
- 再生中に押すと、各種情報を表示します。（→ 27 ページ「時間や文字情報の表示」）
- 本機では、RDS 機能および INFO 機能は使用できません。

㉘ BACK [PAIRING] ボタン
- Menu 画面を表示中に押すと、ホーム画面に戻ります。
- Menu 画面の設定画面を表示中に押すと、1 つ上のメニュー階層に移動します。
- カレントソースが USB ／ SD で、再生対象が「フォルダー（ アイコン表示）」のときに押すと、フォルダーを 1 つ上の階層に移動します。（→ 21 ページ「再生対象」）
- カレントソースが BLUETOOTH のときに押し続けると、Bluetooth のペアリングモードになります。Bluetooth が接続されている（ Connected が表示）ときに押すと、接続を強制的に切断します。（→ 28 ページ「ペアリング」）

㉙ SD カードスロット
SD カードを挿入するカードスロットです。（→ 18 ページ「SD カードを挿入する／取り出す」）

㉚ USB 端子
USB メモリーを挿入／取り外します。（→ 19 ページ「USB メモリーを挿入する／取り外す」）

リアパネル



㉛ ANTENNA FM 端子
付属の FM アンテナを接続します。
アンテナを伸ばし、受信状態が最もよくなる位置の窓枠や壁などにアンテナを固定してください。

㉜ ANTENNA AM 端子
付属の AM ループアンテナを組み立て、リアパネルの AM アンテナ端子に接続します。
AM 放送の受信中に受信状態が最もよくなる位置に設置してください。

㉝ TUNER OUT 端子
チューナーからの音を常に出力する、アナログ出力端子（RCA ピンジャック）です。
規定出力レベルは、− 10dBV です。

㉞ DIGITAL OUT 端子
デジタルオーディオ出力端子です。
IEC60958-3（S/PDIF）フォーマットを出力することができます。
COAXIAL : 同軸デジタル出力 (RCA)
OPTICAL : 光デジタル出力 (TOS)

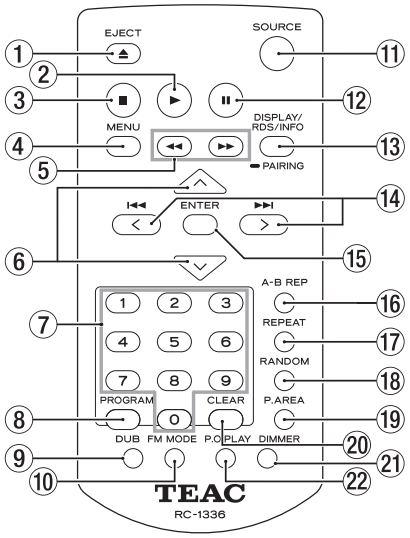
メモ

MP3 や WAV ファイル再生時、本機のデジタル出力のサンプリング周波数は 44.1kHz となります。

㉟ LINE OUT 端子
アナログ出力端子（RCA ピンジャック）です。
規定出力レベルは、− 10dBV（初期値）のほか、− 10dBV（アナログ出力レベル設定：OFF ）から− 28dBV（アナログ出力レベル設定：-18dB ）まで 1dB 刻みで下げることができます。（→ 33 ページ「アナログ出力レベルを調節する」）

㊱ AC IN 端子
付属の電源コードを接続します。

ワイヤレスリモコン（RC-1336）



① **EJECT(▲) ボタン**
本体の **EJECT(▲)** ボタンと同じ働きをします。（→ 18 ページ「ディスクを挿入する／取り出す」）

② **► ボタン**
本体の **PLAY(►)** ボタンと同じ働きをします。

③ **■ ボタン**
本体の **STOP(■)** ボタンと同じ働きをします。

④ **MENU ボタン**
本体の **HOME/MENU** ボタンと同じ働きをします。

⑤ **◄◄ ／ ►► ボタン**
- このボタンを押している間、早戻し／早送りサーチを行います。（→ 24 ページ「早戻し／早送りサーチ」）
- カレントソースが FM ／ AM のときに押すと、周波数モードの受信周波数をオートサーチします。（→ 29 ページ「受信周波数を変更する」）

⑥ **へ ／ ∨ ボタン**
- カレントソースが USB ／ SD で、再生対象が「フォルダー（ アイコン表示）」のときに へ ボタン押すと、フォルダーを 1 つ上の階層に移動します。（→ 21 ページ「再生対象」）
- カレントソースが FM ／ AM のときに へ ／ ∨ ボタン押すと、プリセット番号を選択します。
- Menu 画面の設定画面を表示中に へ ボタン押すと、1 つ上のメニュー階層に移動します。
- ∨ ボタン押すと、リモコンの **ENTER** ボタンと同じ働きをします。

⑦ **数字ボタン（0 ～ 9 ボタン）**
- カレントソースが CD または USB ／ SD で、再生対象が「全て」のとき、数字ボタンを使ってトラック番号を指定して選曲することができます。トラック番号は、オーディオ CD の場合は最大 2 桁、データ CD の場合は最大 3 桁です。（→ 22 ページ「トラックを直接指定する」）
- カレントソースが FM ／ AM のときに押すと、プリセットした放送局を呼び出します。

⑧ **PROGRAM ボタン**
- カレントソースが CD のときに押すと、プログラム設定モードになります。プログラム済みの場合は、プログラムの確認と修正ができます。（→ 25 ページ「プログラムを設定する」）
- カレントソースが FM ／ AM のきに押すと、放送局を手動でプリセットします。（→ 29ページ「放送局を手動でプリセットする」）
- カレントソースが FM ／ AM のときに押し続けると、放送局を自動でプリセットします。（→ 29ページ「放送局を手動でプリセットする」）

⑨ **DUB ボタン**
停止中に押すと、ダビング（コピー）の準備を開始します。（→ 31 ページ「ダビングする」）

⑩ **FM MODE ボタン**
カレントソースが FM のときに押すと、FM 放送受信時のステレオとモノラルを切り換えます。（→ 29 ページ「FM モードを設定する」）

⑪ **SOURCE ボタン**
本体の **SOURCE** ボタンと同じ働きをします。（→ 19 ページ「再生するソースを選択する」）

⑫ **❚❚ ボタン**
本体の **PAUSE(❚❚)** ボタンと同じ働きをします。

⑬ **DISPLAY/RDS/INFO [PAIRING] ボタン**
- 再生中に押すと、各種情報を表示します。（→ 27 ページ「時間や文字情報の表示」）
- カレントソースが BLUETOOTH のときに押し続けると、Bluetooth のペアリングモードになります。ペアリング中に押すと、ペアリングモードを中止します。（→ 28 ページ「ペアリング」）
- 本機では、RDS 機能および INFO 機能は使用できません。

⑭ **I◄◄ ／ ►►I [< ／ >] ボタン**
- カレントソースが CD ／ USB ／ SD で、再生対象が「全て」のときに押すと、トラックをスキップします。（→ 21 ページ「前後のトラックにスキップする」）
- カレントソースが USB ／ SD で、再生対象が「フォルダー（ アイコン表示）」のときに押すと、トラックまたはフォルダーを移動します。（→ 21 ページ「再生対象」）
- カレントソースが FM ／ AM のときに押すと、受信周波数を変更します。（→ 29 ページ「受信する放送局を選択する」）
- Menu 画面表示中、メニュー項目の選択や設定値の選択を行います。（→ 15 ページ「Menu 画面の基本操作」）

⑮ **ENTER ボタン**
メニュー画面表示中、選択や設定を確定します。

⑯ **A-B REP ボタン**
カレントソースが CD のときに押すと、A-B リピート機能の支点（A）と終点（B）を設定します。（→ 24 ページ「A-B リピート再生の設定（オーディオ CD のみ）」）

⑰ **REPEAT ボタン**
リピート再生モード（通常再生、1 曲リピート、全曲リピート）を切換えます。（→ 24 ページ「通常のリピート再生の設定」）

⑱ **RANDOM ボタン**
再生モード（通常再生、ランダム再生）を切り換えます。（→ 23 ページ「再生モード」）

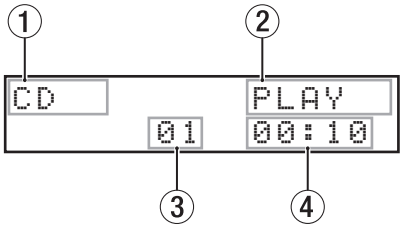
⑲ **P.AREA ボタン**
カレントソースが USB ／ SD のときに押すと、再生対象を設定します。（→ 21 ページ「再生対象を設定する」）

⑳ **CLEAR ボタン**
本体の **CLEAR** ボタンと同じ働きをします。

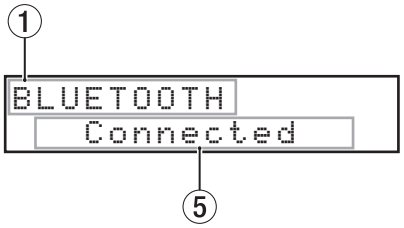
㉑ **DIMMER ボタン**
ディスプレーの輝度を調節します。（→ 17 ページ「ディスプレーの輝度調節する」）

㉒ **P.O.PLAY ボタン**
パワーオンプレー機能をオン／オフします。（→ 26 ページ「パワーオンプレーをする」）

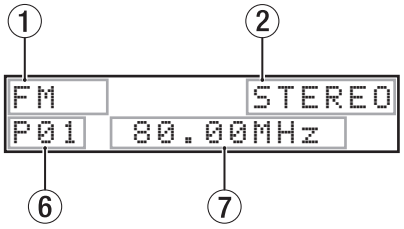
ホーム画面



[ホーム画面・CD ／ USB ／ SD 選択時の表示]



[ホーム画面・Bluetooth 選択時の表示]



[ホーム画面・FM ／ AM 選択時の表示]

① カレントソース表示
現在選択中の入力ソース名を表示します。（→ 19 ページ「再生するソースを選択する」）

② トランスポート／再生ファイル形式の状態表示
- カレントソースが CD のとき、トランスポートの状態を表示します。
- カレントソースが CD でデータ CD のとき、またはカレントソースが USB ／ SD のときは、再生するファイル形式を表示します。

③ トラック番号表示
再生中のトラック番号を表示します。

④ トラック先頭からの経過時間表示
現在のトラックの先頭からの経過時間（時:分:秒）を表示します。

⑤ 接続状況表示
Bluetooth 機器との接続状況、およびメッセージを表示します。

⑥ プリセット番号表示
カレントソースが FM ／ AM でプリセットモードのとき、プリセットされた番号を表示します。

⑦ 受信周波数表示
カレントソースが FM ／ AM のとき、受信周波数を表示します。

メニューの構成

本体の HOME/MENU ボタンまたはリモコンの MENU ボタンを押すと、Menu 画面が表示されます。
各メニュー項目は、以下の通りです。

メニュー項目	機能	参照ページ
APS Setting	オートパワーセーブ機能の設定	→ 33 ページ
DUB AutoMute	ダビング時の自動ミュート機能の設定	→ 32 ページ
A.Out Att.	アナログ出力アッテネーション機能の設定	→ 33 ページ
Resume Setting	リジューム再生機能の設定	→ 26 ページ
Tuner Out Sel.	チューナーの放送音声の出力先設定	→ 30 ページ
Information	情報を表示	→ 33 ページ
Dubbing Format	ダビングフォーマットの設定	→ 32 ページ
Factory Reset	工場出荷時の設定に戻す	→ 33 ページ

メモ

各メニュー項目で設定した内容は、電源をオフにしても保持されます。

Menu 画面の基本操作

Menu 画面の操作は、以下の操作で行います。

項目を選択する（画面の縦方向の選択）には：

本体の MULTI JOG ダイヤルを回します。
リモコンの ⏮ ／ ⏭ [〈／〉] ボタンを押します。

選択した項目を確定するには：

本体の MULTI JOG ダイヤルを押します。
リモコンの ENTER ボタンを押します。

画面に表示されていないサブ画面に進むには：

本体の MULTI JOG ダイヤルを押します。
リモコンの ENTER ボタンを押します。

サブ画面で項目を選択するには：

本体の MULTI JOG ダイヤルを回します。
リモコンの ⏮ ／ ⏭ [〈／〉] ボタンを押します。

メニュー階層を 1 つ戻るには：

本体の BACK [PAIRING] ボタンを押します。
リモコンの へ ボタンを押します。

メニュー画面表示中、直接ホーム画面に戻るには：

本体の HOME/MENU ボタンを押します。

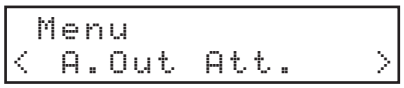
メニュー操作の手順

アナログ出力アッテネーション機能の設定を例に説明します。

1. 本体の HOME/MENU ボタンまたはリモコンの MENU ボタンを押して、Menu 画面を表示します。



2. 本体の MULTI JOG ダイヤルを回して、またはリモコンの ⏮ ／ ⏭ [〈／〉] ボタンを押して、設定する項目を選択します。



3. 本体の MULTI JOG ダイヤルまたはリモコンの ENTER ボタンを押して、各種設定画面を表示します。



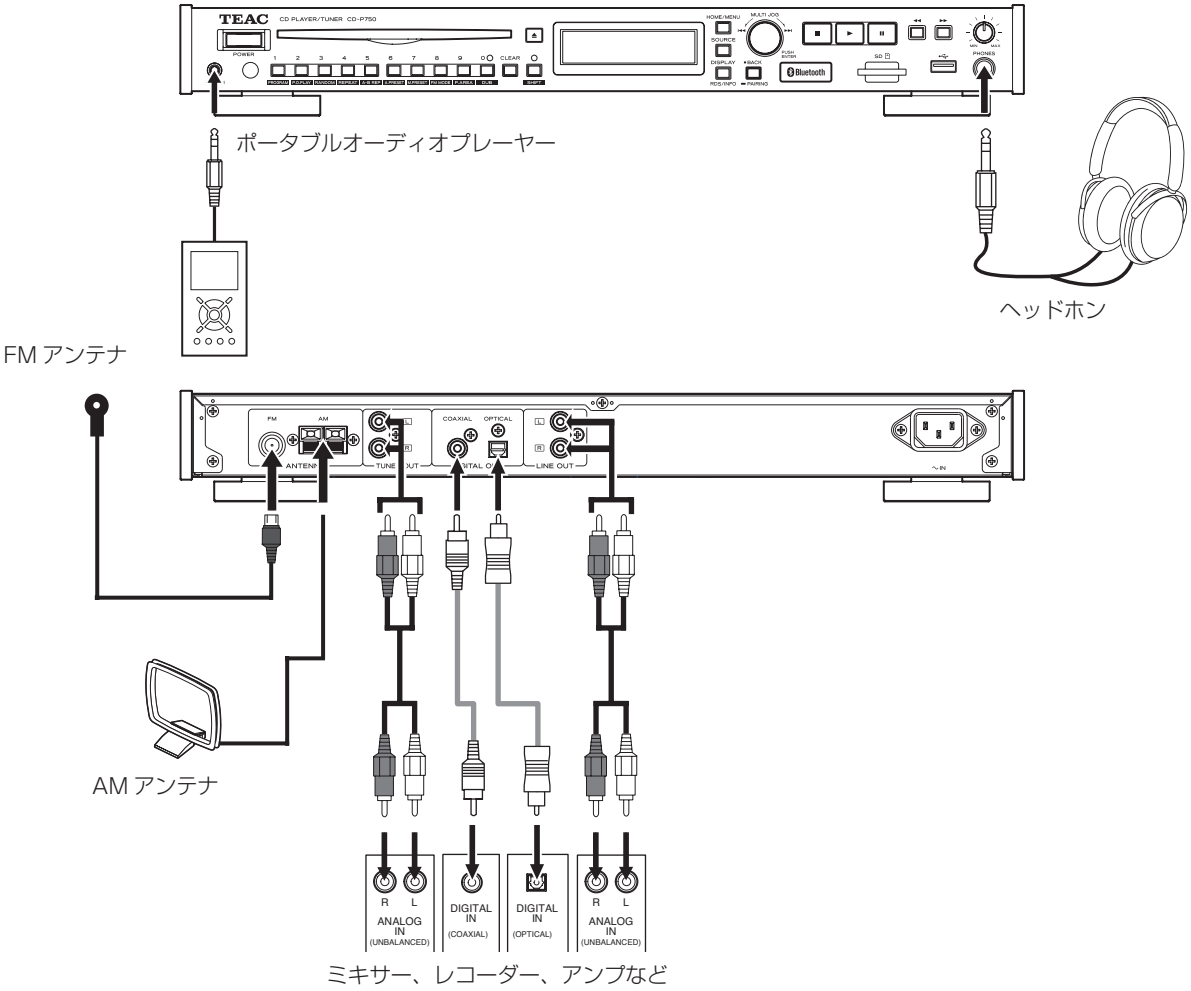
4. 本体の MULTI JOG ダイヤルを回して、またはリモコンの ⏮ ／ ⏭ [〈／〉] ボタンを押して、設定を変更します。
5. 本体の MULTI JOG ダイヤルまたはリモコンの ENTER ボタンを押して、設定を確定し Menu 画面に戻ります。
6. 必要に応じて、手順 2. ～ 5. を繰り返して、各項目を設定します。
7. 本体の BACK [PAIRING] ボタンまたはリモコンの へ ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

接続する

以下に、CD-P750 の接続例を示します。

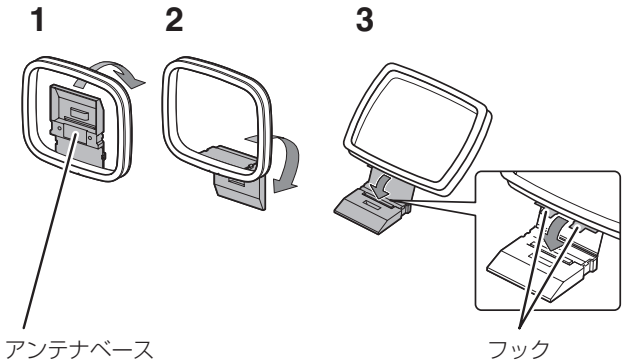
接続前の注意

- 接続を行う前に、外部機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく接続してください。
- 本機および接続する機器の電源を全てオフまたはスタンバイ状態にします。
- 各機器の電源は、同一のラインから供給するように設置します。テーブルタップなどを使う場合は、電源電圧の変動が少なくなるように、電流容量が大きい太いケーブルをご使用ください。



AM アンテナの組み立て方

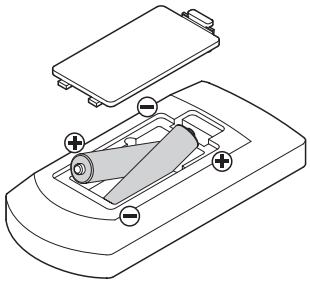
AM アンテナを組み立てるには、アンテナベースを矢印方向に回して起こし、アンテナループの下側のフックをアンテナベースの長穴に差し込んでください。



リモコンを準備する

乾電池の入れ方

1. 裏側の蓋を開けます。
2. ⊕、⊖ の向きに注意して、単４形乾電池を２本挿入します。
3. 蓋を閉めます。



乾電池の交換時期

操作範囲が狭くなった、または操作ボタンを押しても動作しない場合は、２本同時に新しい乾電池に交換してください。

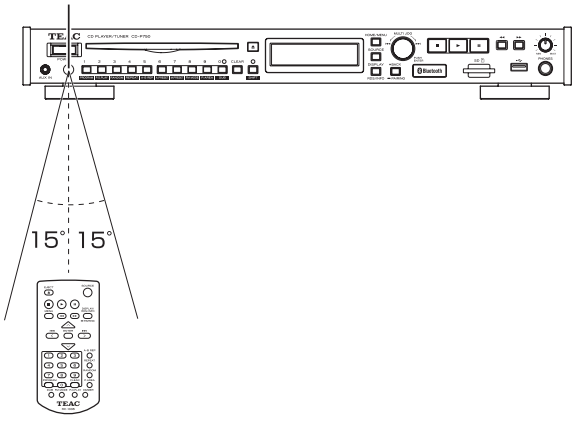
乾電池についての注意

乾電池を誤って使用すると、液漏れや破裂などの原因となることがあります。乾電池の注意表示をよく見てご使用ください。（→４ページ「電池の取り扱いについて」）

ワイヤレスリモコンを使う

各ボタンの機能は、13ページ「ワイヤレスリモコン（RC-1336）」をご参照ください。
リモコンの使用時は、下記に示す範囲内でリモコンを本機受光部に向けて操作してください。

リモコン受光部



リモコン動作範囲

正面	：5m
上下左右	：± 15 度　5m

注意

- 障害物があると、操作できないことがあります。
- 長い間（1 ヶ月以上）リモコンを使用しないときは、電池を取り出してください。
- 液漏れを起こしたときは、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- 赤外線によりコントロールするその他の機器を使用時に、本機のリモコンを操作すると、その機器を誤動作させることがあります。

電源のオン／オフ

フロントパネルの **POWER** スイッチを押します。



[起動画面]



[ホーム画面]

本機が起動し、起動画面が表示されたあとホーム画面になります。

電源をオフにするには

特別な終了動作は不要です。
POWER スイッチを押して、電源をオフにします。

注意

本機が動作中（再生中、SD カード／ USB メモリーにデータを書き込み中など）は電源をオフにする、または電源コードを抜かないでください。ダビング（コピー）が正しく行われなかったり、ダビング（コピー）したデータが破損したり、モニター機器から突然大きな音が出て、機器の破損や聴力障害の原因になるなどの可能性があります。

ディスプレーの輝度調節する

本体の **SHIFT** ボタンを押しながら **MULTI JOG** ダイヤルを回して、またはリモコンの **DIMMER** ボタンを押して、ディスプレーの輝度を調節します。

本体操作　：暗い ← → やや暗い ← → 通常
リモコン操作　：通常 → やや暗い → 暗い → 通常に戻る

ディスクを挿入する／取り出す

ディスクを挿入する

ディスクのレーベル面を上にし、ディスク挿入口に途中まで挿入してください。
さらにディスクを押していくと、ディスクが挿入口に隠れる直前で自動的に引き込まれます。

注意

- 電源の入っていない状態では、ディスクは入りません。
- ディスクが引っ掛かるなど、押しにくいときは、無理に押し込まずに一度ディスクを抜いて **EJECT(▲)** ボタンを押してから、入れ直してください（無理に押し込むと、ディスクを傷つける、または本機を破損する場合があります）。
- 再生可能な CD 以外のディスクを挿入する、またはディスクを裏返して挿入した場合は、自動的に排出されます。
- 8cmCD は、使用できません。8cmCD を挿入した場合は、自動的に排出されます。

ディスクを取り出す

本体またはリモコンの **EJECT(▲)** ボタンを押します。
ディスクが途中まで排出されるので、ディスクの側面を持って引き抜きます。

注意

電源の入っていない状態では、本体またはリモコンの **EJECT(▲)** ボタンは動作しません。

ディスクの強制排出

EJECT(▲) ボタンを 10 秒以上押し続けると、ディスクの強制排出を行います（ホーム画面に `No Disc` 表示状態でもディスクの取り出し動作を行います）。

SD カードを挿入する／取り出す

SD カードを挿入する

本機で再生／ダビングを行うには、フロントパネルの SD カードスロットに SD カードを挿入します。

メモ

電源がオン／オフどちらのときも SD カードを挿入することができます。

- SD カードを正しい向きに挿入します。
- ラベル面を上、端子部を奥にして挿入します。

SD カードを取り出す

電源をオフにするか、動作を停止してから、SD カードを取り出します。

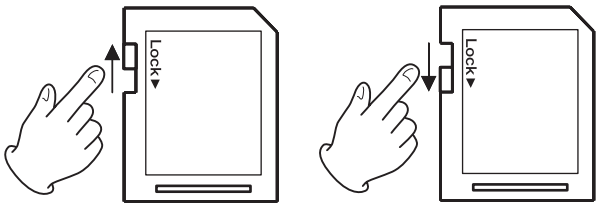
注意

本機が動作中（再生中、SD カードにデータを書き込み中など）は、絶対に SD カードを取り出さないでください。ダビングが正しく行われなかったり、データが破損したり、モニター機器から突然大きな音が出て、機器の破損や聴力障害の原因になるなどの可能性があります。

1. SD カードを軽く押し込むと手前に出てきます。
2. 手でつまんで SD カードを引き出します。

SD カードのライトプロテクトスイッチについて

SD カードには、ライトプロテクト（書き込み防止）スイッチが付いています。



ライトプロテクトスイッチを「LOCK」の方向へスライドするとダビングができなくなります。
ダビング（コピー）機能を行う場合は、ライトプロテクトを解除してください。

USB メモリーを挿入する／取り外す

USB メモリーを挿入する

本機で再生／ダビングを行うには、フロントパネルの **USB** 端子に USB メモリーを挿入します。

メモ

電源がオン／オフどちらのときも USB メモリーを挿入することができます。

USB メモリーを取り外す

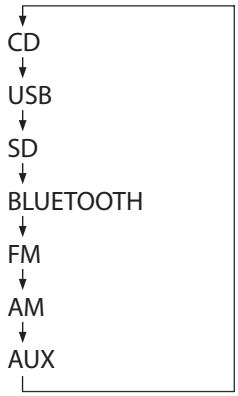
電源をオフにするか、動作を停止してから、USB メモリーを取り外します。

注意

本機が動作中（再生中、USB メモリーにデータを書き込み中など）は、絶対に USB メモリーを取り出さないでください。ダビングが正しく行われなかったり、データが破損したり、モニター機器から突然大きな音が出て、機器の破損や聴力障害の原因になるなどの可能性があります。

再生するソースを選択する

本機で再生するソースを、本体またはリモコンの **SOURCE** ボタンを押して選択します。
この操作でカレントソースが、以下の順で切り換わります。



[カレントソース・切り換え順]

ホーム画面のカレントソース表示部に、カレントソース名（ CD ／ USB ／ SD ／ BLUETOOTH ／ FM ／ AM ／ AUX ）を表示します。

メモ

- カレントソースを「 CD 」から他の入力ソースに切り換えたとき、CD が再生中または再生待機中であれば、CD を停止します。
  同様に、SD カードから他のメディアに切り換えたときや、USB メモリーから他の入力ソースに切り換えたとき、切り換える前の入力ソースが再生中または再生待機中であれば、停止します（Bluetooth および AUX は停止しません）。
- カレントソースを切り換えても、再生モードの設定は消去されません。

CD ／SDカード／USBメモリーに収録されているオーディオファイルの再生機能を説明します。
以下の説明では、オーディオファイルが記録されたCD ／ SDカード／ USBメモリーが本機にセットされ、本機の電源がオンになっていて、カレントソースが適切に選択されていることを前提にしています。（→ 19ページ「再生するソースを選択する」）

再生可能なファイル

本機では、以下の形式のファイルを再生することができます。

オーディオ CD

市販の音楽CDや、オーディオCD形式で作成したCD-R、CD-RWディスク

データ CD

記録方式がISO9660 Level1およびLevel2, Jolietで、MP3ファイルやWMAファイルを収録したCD-ROM/R/RWディスクを再生できます。

SD カード／ USB メモリー

本機でダビングしたファイル（MP3）はもちろん、本機以外での記録やパソコンや他のオーディオ機器などを利用して書き込みした音楽ファイルでも、下記の該当ファイル形式であれば再生可能です。

再生可能なファイル	ファイル拡張子
AAC	.m4a、.M4A
MP3	.mp3、.MP3
WAV	.wav、.WAV
WMA	.wma、.WMA

メモ

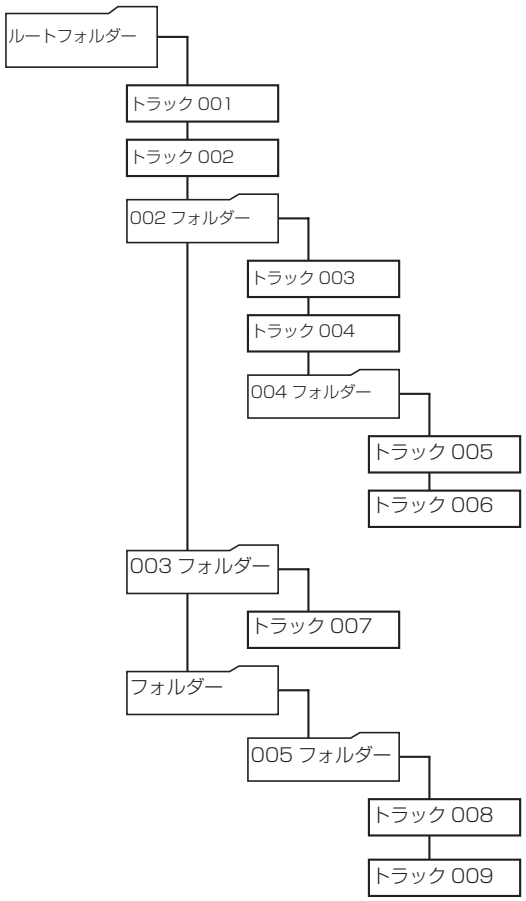
- 本機は、ファイナライズされていないCD-R、CD-RWディスクは再生できません。
- 再生可能なサンプリング周波数やビットレートに関しては、巻末の「再生ファイル形式」を参照してください。（→ 35ページ「定格」）
- 本機のディスプレーには、半角のアルファベットと数字（1バイト文字）しか表示できません。ファイル名に日本語や中国語などの全角文字（2バイト文字）が使われている場合は、再生が可能ですが、ディスプレーに表示する際「 ＊ 」に置換します。
- MP3ファイルの認識は、ファイル拡張子「.mp3」で行います。ファイル名には、必ず拡張子「.mp3」を付けてください。拡張子「.mp3」のないMP3ファイルは本機では再生できません。また、ファイル名に拡張子「.mp3」が付いていても、MP3データ形式でないファイルは再生できません。
- WAVファイルの認識は、ファイル拡張子「.wav」で行います。ファイル名には、必ず拡張子「.wav」を付けてください。拡張子「.wav」のないWAVファイルは、本機では再生できません。また、ファイル名に拡張子「.wav」が付いていても、WAVデータ形式でないファイルは再生できません。
- 300以上のファイルまたは50以上のフォルダーが記録されたメディアは、正常に再生できないことがあります。
- ディスクの状態によっては、本機で再生できない、または音が途切れることがあります。

SD カード／ USB メモリーのトラックとフォルダーについて

本機は、SDカード／ USBメモリー上の音楽ファイルを「トラック」として扱います。
データCD ／ SDカード／ USBメモリーの中には、通常のパソコンのファイルの扱いと同じように、ファイルをフォルダーに収納しているものがあります。さらに、いくつかのフォルダーをまとめて1つのフォルダーに収めるといった、複数階層構造のものもあります。
各音楽ファイルは、トラック番号を付けて管理します。
トラック番号は、以下の順に割り当てられます。

1. 各フォルダについて再生可能なファイルに対してUNICODE順でソートされます。フォルダについても空フォルダ、再生可能なファイルが書き込まれていないフォルダも含めUNICODE順でソートされます。
2. ルートフォルダに再生可能なファイルが存在する時、そのファイルから番号を割り当てます。
3. ルートフォルダにある再生可能なファイルのすべてに番号が割り当てられると、その下階層にフォルダがあればそのフォルダ内の再生可能なファイルに番号を割り当てます。
4. さらに下階層にフォルダがある場合、そのフォルダ内の再生可能なファイルに番号を割り当てます。下階層にフォルダがない場合、同一階層のフォルダを検索し、フォルダがある場合、そのフォルダ内に割り当ててゆきます。

SDカード／ USBメモリーを通常再生すると、オーディオCDと同じように、トラック番号順に再生されます。



〈トラックとフォルダーの構成例〉

再生対象

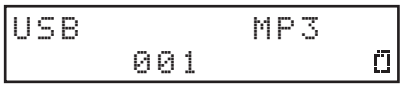
ホーム画面上で選択できる再生するトラックの範囲を「再生対象」と呼びます。
オーディオ CD、MP3 ファイルや WMA ファイルを記録した CD-R ／ CD-RW ディスクの場合は、常にディスク全体が再生範囲になります。
SD カード／ USB メモリーでは、再生範囲をフォルダーに設定することができます。
SD カード／ USB メモリー上に多数のファイルが記録されている場合など、選択範囲を限定することにより再生するトラック選択が容易になります。

再生対象を設定する

カレントソースが USB ／ SD のとき、本体の **SHIFT** ボタンを押して、シフトモード（**SHIFT** インジケーター点灯）にし、**9 [P. AREA]** ボタンを押して再生対象を設定します。またはリモコンの **P.AREA** ボタンを押して再生対象を設定します。

再生対象	フォルダー表示	内容
全て	表示なし	メディア内の全ファイルを再生します。
フォルダー	表示	現在選択中のファイルが含まれているフォルダー内のファイルを再生します。

再生対象が「フォルダー」のとき、ホーム画面の右側に「 🗀 」アイコンを表示します



再生の基本操作

ここでは、再生／再生待機状態／停止などの基本操作について説明します。
以下の説明では、必要な接続を終え、本機の電源がオンになっていて、オーディオファイルが記録されたメディアをセットし、カレントソースが選択され、ディスプレーにホーム画面が表示されていることを前提にしています。

再生する

再生を始めるには、本体の **PLAY(►)** ボタンまたはリモコンの ► ボタンを押します。

再生を停止するには：

本体の **STOP(■)** ボタンまたはリモコンの ■ ボタンを押します。

再生を再生待機状態にするには：

本体の **PAUSE(❚❚)** ボタンまたはリモコンの ❚❚ ボタンを押します。

再生するトラックを選択する

カレントソースが CD でオーディオ CD のとき、または USB ／ SD で再生対象が「全て」のとき、カレントソースに複数のトラックが存在するときの選曲方法を説明します。
選曲方法には、前後のトラック番号に移動する方法（スキップ）とトラック番号を直接指定する方法があります。

メモ

カレントソースが USB ／ SD で、再生対象が「フォルダー（ 🗀 アイコン表示）」のとき、本体またはリモコンの数字ボタンを押してもトラックを指定できません。

前後のトラックにスキップする

本体の **MULTI JOG** ダイヤルを回す、またはリモコンの ⏮ ／ ⏭ [〈 ／ 〉] ボタンを押して、前後のトラックにスキップします。

- トラックの再生途中で本体の **MULTI JOG** ダイヤルを反時計周りに回す、またはリモコンの ⏮ [〈] ボタンを押すと、ファイルの先頭へ戻り、トラックの先頭で **MULTI JOG** ダイヤルを反時計周りに回す、またはリモコンの ⏮ [〈] ボタンを押すと、1 つ前のトラックの先頭にスキップします。
- トラックの先頭または途中で本体の **MULTI JOG** ダイヤルを時計周りに回す、またはリモコンの ⏭ [〉] ボタンを押すと、次のトラックへスキップします。

トラックを選択したあと、**PLAY(►)** ボタンまたはリモコンの ► ボタンを押すと、トラックの再生が始まります。本体の **PLAY(►)** ボタンまたはリモコンの ► ボタンの代わりに、**PAUSE(❚❚)** ボタンまたはリモコンの ❚❚ ボタンを押すと、選択したトラックの先頭で再生待機状態になります。

メモ

- 再生できるトラックは、再生対象内のファイルです。
- 再生中のファイル情報（曲名など）やトラック番号がディスプレーに表示されます。
- トラックを移動したい場合には、本体の **MULTI JOG** ダイヤルまたはリモコンの ⏮ ／ ⏭ [〈 ／ 〉] ボタンを必要だけ回してください。

トラックを直接指定する

本体またはリモコンの数字ボタンを使って、トラック番号を直接指定することができます。
トラック番号は、オーディオ CD 形式の場合は最大 2 桁、MP3 形式および WAV 形式の場合は最大 3 桁です。

トラック番号は、大きい桁の数字から順に入力します。
トラック番号を入力すると、再生が始まります。

オーディオ CD の場合

2 桁で指定します。
例：トラック 9 の場合は、0→9 を入力

データ CD ／ USB ／ SD の場合

3 桁で指定します。
例 1：トラック 105 の場合は、1→0→5 を入力
例 2：トラック 4 の場合は、0→0→4 を入力

トラック番号入力途中で 5 秒経過すると、そのトラック番号を再生します。また、本体の **PLAY**(►) ボタンまたはリモコンの ► ボタン、本体の **MULTI JOG** ダイヤルまたはリモコンの **ENTER** ボタンを押すことでも再生を始めることができます。

例：トラック7を再生する場合、下記の方法があります。
7→►
7→**ENTER/MULTI JOG**
7→(5 秒放置)

メモ

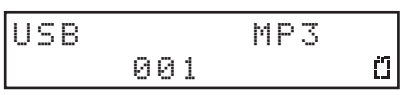
- 番号を入れ間違えた場合は、**CLEAR** ボタンまたは STOP（■）ボタンで入力内容を取り消すことができます。
- 再生中のトラック番号表示は、最大 999 までです。トラック番号が 1000 を超えると下3桁のみが表示されます。
- ランダムモード時は、数字ボタンを使ったトラック指定ができません。
- 存在しないトラック番号は入力できません。

フォルダー再生(SDカード／USBメモリーのみ)

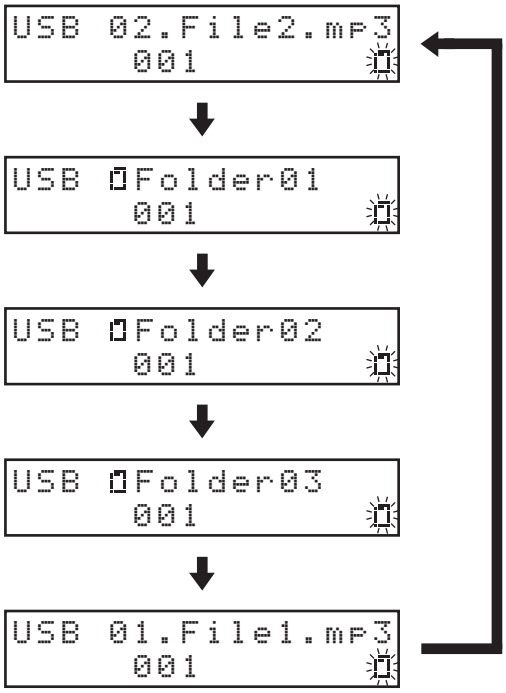
カレントソースが USB ／ SD で再生対象が「フォルダー（ アイコン表示)」のとき、指定したフォルダー（＝カレントフォルダー）を再生対象にすることができます。
以下に説明する方法で再生するトラックを選び、そのトラックのあるフォルダーをカレントフォルダーとすることができます。

1. USB ／ SD をカレントソースに選択します。(→ 19 ページ「再生するソースを選択する」)

2. 再生対象を「フォルダー（ アイコン表示)」に設定します。(→ 21 ページ「再生対象を設定する」)



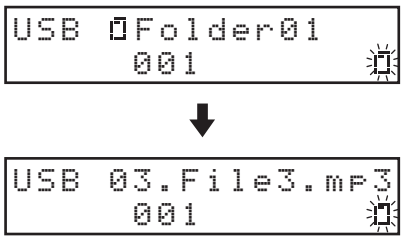
3. 本体の **MULTI JOG** ダイヤルを回す、またはリモコンの ⏮ ／ ⏭ [〈／〉] ボタンを押すと、トラック／フォルダーを選択します。
ホーム画面の上段にファイル名またはフォルダー名が表示され、 アイコンが点滅状態になります。



メモ

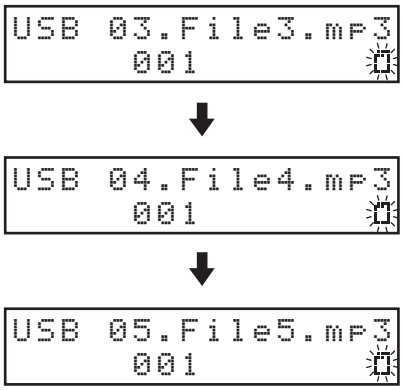
- トラック／フォルダー選択を中止するには、本体またはリモコンの **CLEAR** ボタンを押します。
- 音楽ファイルがないフォルダーを選択すると「 NO FILE 」と表示されますが、このときに本体の **MULTI JOG** ダイヤルを回して、またはリモコンの ⏮ ／ ⏭ [〈／〉] ボタンを押すと、現在選択されているファイルのファイル名が表示され、移動できなくなることがあります。この場合には、本体またはリモコンの **CLEAR** ボタンを押して選択を中止し、やり直してください。
- フォルダーの移動にしたがってカレントフォルダーが切り換わります。

4. アイコンが点滅中に本体の **MULTI JOG** ダイヤルまたはリモコンの **ENTER** ボタンを押すと、トラックを選択した場合は再生を開始し、フォルダーを選択した場合は 1 つ下の階層に移動します。

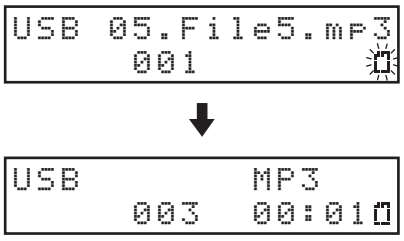


1 つ上の階層に移動するには、本体の **BACK [PAIRING]** ボタンまたはリモコンの へ ボタンを押します。

5. 本体の **MULTI JOG** ダイヤルを回す、またはリモコンの ⏮ ／ ⏭ [〈／〉] ボタンを押すと、トラック／フォルダーを選択します。



6. 🗀 アイコンが点滅表示中に本体の **MULTI JOG** ダイヤルまたはリモコンの **ENTER** ボタンを押すと、そのトラックが選択され再生を開始します。
選択したトラックのあるフォルダーがカレントフォルダーになります。

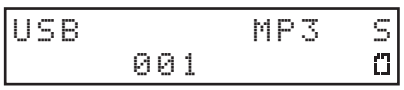


メモ

- フォルダー再生中にリピート再生を行うと、カレントフォルダー内のトラックをリピート再生します。
- フォルダー再生中にランダム再生を行うと、カレントフォルダー内のトラックをランダム再生します。

スキップモードにするには

再生対象が「フォルダー（ 🗀 アイコン表示）」のとき、本体の **MULTI JOG** ダイヤルまたはリモコンの **ENTER** ボタンを押し続けると、スキップモードになりホーム画面に「 S 」が表示されます。



このモードでは、本体の **MULTI JOG** ダイヤルを回して、またはリモコンの ⏮ ／ ⏭ [〈／〉] ボタンを押すと、同じ階層のトラックのみで前後のトラックにスキップすることができます。また、同一階層内のトラックを直接指定することもできます。（→ 22 ページ「トラックを直接指定する」）

メモ

スキップモード中、本体の **MULTI JOG** ダイヤルまたはリモコンの **ENTER** ボタンを押し続けると、「 S 」が消え通常のフォルダーモードに戻ります。

再生モード

本機には、2 種類の再生モードがあります。
現在選択中の再生モードは、ホーム画面に表示します。

連続再生モード（初期設定）

再生対象内のトラックを、トラック番号順に再生します。

メモ

SD カード／ USB メモリーで再生対象が「フォルダー（ 🗀 アイコン表示）」のとき、再生中のフォルダー内のトラックを番号順に再生します。

ランダム再生モード

再生対象内の全てのトラックを、トラック番号に関係なくランダムに再生します。

メモ

SD カード／ USB メモリーで、再生対象が「フォルダー（ 🗀 アイコン表示）」のとき、カレントフォルダー内のトラックをランダムに再生します。（→ 22 ページ「フォルダー再生（SD カード／ USB メモリーのみ）」）

再生モードを設定する

本体の **SHIFT** ボタンを押して、シフトモード（**SHIFT** インジケーター点灯）にし、**3 [RANDOM]** ボタンを押して、再生モードを切り換えます。
または、リモコンの **RANDOM** ボタンを押すたびに、再生モードが切り換わります。

表示	再生モード
表示なし	連続再生モード
RND	ランダム再生モード



[再生モード・ランダム再生モード時の表示]

メモ

- 本取扱説明書では、特に断らない限り、再生モードの設定が連続再生モードに設定されている前提で説明を行います。
- 現在の再生モードがホーム画面に表示されます。

早戻し／早送りサーチ

音声を聴きながらトラック内を早戻し／早送りサーチすることができます。

1. 希望のトラックを再生または再生待機状態にします。
2. 本体の ◄◄ ／ ►► [FAST] ボタンまたはリモコンの ◄◄ ／ ►► ボタンを押し続けると、早戻し／早送りが始まります。
3. サーチを止めるには、押し続けているボタンを放します。
   サーチを始める前の状態（再生待機または再生）に戻ります。

メモ

- 早送り中にトラックの最後になった場合は、次のトラックにスキップし、その先頭からサーチを再開します。
- 早送りするトラックが最後のトラックの場合は、トラックの最後になったときに停止状態になります。
- 早戻し中にトラックの先頭になった場合は、前のトラックにスキップし、その最後からサーチを再開します。
- 早戻しするトラックが最初のトラックの場合は、トラックの最初になったときに再生待機状態になり、ボタンを放すと再生を始めます。
- 早戻し／早送り中に、押し続けている ◄◄ ／ ►► ボタンと反対方向の ◄◄ ／ ►► ボタンを同時に押し続けると、高速での早戻し／早送りサーチ状態となります。（本体のみ）

リピート再生機能を使う

再生対象の全トラックを繰り返し再生する、またはトラック内の任意の区間を繰り返し再生（A-B リピート再生）することができます。

通常のリピート再生の設定

選択トラックあるいは全トラックを、繰り返し再生することができます。
本体の **SHIFT** ボタンを押して、シフトモード（**SHIFT** インジケーター点灯）にし、**4 [REPEAT]** ボタンを押して、リピートモードを以下の中から選択することができます。
またはリモコンの **REPEAT** ボタンを押すたびに、選択を切り換えます。

1 曲リピート（ホーム画面に「1REP」を表示）

選択したトラックが繰り返し再生されます。

全曲リピート（ホーム画面に「REP」を表示）

全トラック * を繰り返し再生します。

* データ CD のフォルダ再生時はフォルダ内の全トラック。プログラム再生時はプログラム内の全トラック。

オフ（無点灯）

リピート再生しません。

リピート再生をオフにするには

ディスプレーの “1REP” と “REP” が消灯するまで、本体またはリモコンの **REPEAT** ボタンを押します。

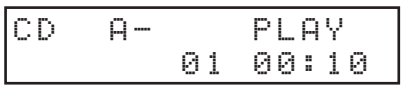
メモ

- 再生中にリピート再生をオンにした場合は、そのまま再生を続け、最後まで再生すると先頭に戻って再生を続けます。停止中にオンにした場合は、**PLAY(►)** ボタンを押すとリピート再生が始まります。
- リピート機能の設定は、電源を切っても保持されます。

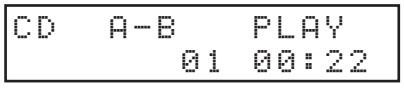
A-B リピート再生の設定（オーディオ CD のみ）

トラック内の任意の区間（A-B）を指定して、繰り返し再生することができます。以下の手順で A-B リピート再生を行います。

1. CD をカレントソースに選択します。（→ 19 ページ「再生するソースを選択する」）
2. 再生待機中または再生中にリピート再生区間の始点（A）にしたい位置で、本体の **SHIFT** ボタンを押して、シフトモード（**SHIFT** インジケーター点灯）にし、**5 [A-B REP]** ボタンを押します。またはリモコンの **A-B REP** ボタンを押します。
   ホーム画面に「 A- 」を表示します。



3. リピート再生区間の終点（B）にしたい位置で、本体の **SHIFT** シフトモード（**SHIFT** インジケーター点灯）にし、**5 [A-B REP]** ボタンを押します。またはリモコンの **A-B REP** ボタンを押します。
   ホーム画面に「 A-B 」を表示します。
   これで設定した区間（A-B）が確定し、A-B リピート再生が始まります。



注意

データ CD ／ SD カード／ USB メモリーは、A-B リピートができません。

メモ

- 本体の **STOP(■)** ボタンまたはリモコンの ■ ボタンを押して停止状態にすると、指定した区間（A-B）は消去されます。また、トラックを変える、またはカレントソースを変えても消去されます。
- トラックを跨いでの A-B リピート再生はできません。
- A-B リピートの設定は、電源がオフまたはスタンバイになった場合には保持されません。

プログラム再生（オーディオ CD のみ）

あらかじめプログラムを設定することにより、希望のトラックを希望の順に再生することができます。最大 32 トラックまでプログラムすることができます。

プログラムを設定する

以下の手順でプログラムを設定することができます。

- 再生モードがランダム再生モード（ RND 表示）のときは、プログラム編集 / 再生機能をオンにできません。
- 同じトラックを繰り返してプログラムできます。
- ディスクトレーを開くとプログラムが消去されます。

1. 停止中に、本体の **SHIFT** ボタンを押して、シフトモード（**SHIFT** インジケーター点灯）にし、**1 [PROGRAM]** ボタンを押します。またはリモコンの **PROGRAM** ボタンを押します。プログラム設定モードになり、プログラムが未設定の場合は、プログラムステップ "01" にトラックを登録できる状態になります（"MEM" とトラック番号が点滅）。

```
CD          STOP
 MEM   --   P-01
```

メモ

プログラムがすでに設定されている場合、プログラムステップ "01" に登録されているトラック番号と再生時間が表示されます。（→ 25 ページ「プログラムを確認するまたは修正する」）

2. テンキーを使って、または本体の MULTI JOG ダイヤルを回して、またはリモコンの ⏮ ／ ⏭ [〈 ／ 〉] ボタンを押して、プログラムステップ "01" に登録するトラックを選びます（"MEM" とトラック番号が点滅）。

```
CD          STOP
 MEM   05   P-01
```

メモ

- 何もせずに 5 秒経つと、ホーム画面に戻ります。
- トラックを選択した状態で **STOP(■)** ボタンを押すと、トラック選択がキャンセルされ、ホーム画面に戻ります。

3. 本体の **MULTI JOG** ダイヤルまたはリモコンの **ENTER** ボタンを押します。
選んだトラックがプログラムステップ "01" に登録され、次のプログラムステップを登録できる状態になります。

```
CD          STOP
 MEM   --   P-02
```

4. 上記手順 **2.** と **3.** を繰り返して、希望のトラックを順次、登録していきます。

5. プログラム設定を終えたら、本体の **PLAY(►)** ボタンまたはリモコンの ► ボタンを押してプログラム再生を開始します。

メモ

- 同じトラックを繰り返し登録することも可能です。
- 32 トラック以上を登録しようとすると、エラーメッセージ "MEM FULL" が表示されます。登録できるのは 32 トラックまでです。

プログラムを確認するまたは修正する

プログラムの内容を確認し、修正することができます。

プログラムを確認する

1. 本体の **SHIFT** ボタンを押して、シフトモード（**SHIFT** インジケーター点灯）にし、**1 [PROGRAM]** ボタンを押してプログラム設定モードにします（"MEM" とトラック番号が点滅）。またはリモコンの **PROGRAM** ボタンを押します。

```
CD          STOP
 MEM   --   P-04
```

2. 上記操作を再度行い、プログラム確認モードにします（"MEM" とプログラムステップ番号が点滅）。

```
CD          STOP
 MEM   --   P-04
```

本体の **MULTI JOG** ダイヤルを回して、またはリモコンの ⏮ ／ ⏭ [〈 ／ 〉] ボタンを押して、プログラムステップ番号を変更し、トラック番号を確認します。

3. プログラムの確認を終えたら、本体の **PLAY**（►）ボタンまたはリモコンの ► ボタンを押してプログラム再生を開始します。

プログラムを修正する

1. 本体の **SHIFT** ボタンを押して、シフトモード（**SHIFT** インジケーター点灯）にし、**1 [PROGRAM]** ボタンを押してプログラム設定モードにします（"MEM" とトラック番号が点滅）。またはリモコンの **PROGRAM** ボタンを押します。

2. 上記操作を再度行い、プログラム確認モードにします（"MEM" とプログラムステップ番号が点滅）。

3. 修正したいプログラムステップ番号を表示させます。

4. 本体の **SHIFT** ボタンを押して、シフトモード（**SHIFT** インジケーター点灯）にし、**1 [PROGRAM]** ボタンを押します。またはリモコンの **PROGRAM** ボタンを押します。

5. 本体の **MULTI JOG** ダイヤルを回して、またはリモコンの ⏮ ／ ⏭ [〈 ／ 〉] ボタンを押して、トラックを選択し、本体の **MULTI JOG** ダイヤルまたはリモコンの **ENTER** ボタンを押してトラックを登録します。

6. 複数のプログラムステップを編集するには、上記手順 3. ～ 5. を繰り返します。

7. プログラムの修正を終えたら、本体の **PLAY**（►）ボタンまたはリモコンの ► ボタンを押してプログラム再生を開始します。

プログラムステップを消去する

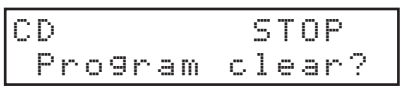
1. 本体の SHIFT ボタンを押して、シフトモード（SHIFT インジケーター点灯）にし、1 [PROGRAM] ボタンを押してプログラム設定モードにします（"MEM" とトラック番号が点滅）。またはリモコンの PROGRAM ボタンを押します。
2. 上記操作を再度行い、プログラム確認モードにします（"MEM" とプログラムステップ番号が点滅）。
3. 本体の MULTI JOG ダイヤルを回して、またはリモコンの ⏮ ／ ⏭ [< ／ >] ボタンを押して、消去したいプログラムステップ番号を表示させます。
4. CLEAR ボタンを押します。
   選択していたプログラムステップ番号の内容が消去され、以降のプログラムステップ番号が繰り上がります。
5. 複数のプログラムステップを消去するには、上記手順 2. と 3. を繰り返します。
6. プログラムステップの消去を終えたら、本体の PLAY（►）ボタンまたはリモコンの ► ボタンを押してプログラム再生を開始します。

プログラムステップの追加

1. 本体の SHIFT ボタンを押して、シフトモード（SHIFT インジケーター点灯）にし、1 [PROGRAM] ボタンを押します。（"MEM" とトラック番号が点滅）またはリモコンの PROGRAM ボタンを押します。
2. 本体の MULTI JOG ダイヤルを回して、またはリモコンの ⏮ ／ ⏭ [< ／ >] ボタンを押して、トラックを選択し、本体の MULTI JOG ダイヤルまたはリモコンの ENTER ボタンを押してトラックを登録します。
3. 複数のトラックを登録するには、この操作を繰り返してください。
4. プログラムの追加を終えたら、本体の PLAY（►）ボタンまたはリモコンの ► ボタンを押してプログラム再生を開始します。

プログラムの消去

1. 本体の SHIFT ボタンを押して、シフトモード（SHIFT インジケーター点灯）にし、1 [PROGRAM] ボタンを押します。（"MEM" とトラック番号が点滅）またはリモコンの PROGRAM ボタンを押します。
2. 本体またはリモコンの CLEAR ボタンを長押しします。
   メッセージ「 Program clear? 」が表示されます。



3. 本体の MULTI JOG ダイヤルまたはリモコンの ENTER ボタンを押すとプログラムが消去されます。
   プログラムの消去をやめるには以下のボタンを押します。
   本体またはリモコンの CLEAR ボタン
   本体またはリモコンのストップ（■）ボタン

メモ

以下のいずれかを行ったときも、プログラムの内容は全て消去されます。

- ディスクを排出した場合
- 電源がオフまたはスタンバイになった場合
- ソースを CD 以外にした場合

パワーオンプレーをする

市販のタイマーなどを使って外部から本機に電源を投入することにより、希望のタイミングで本機を再生することができます。

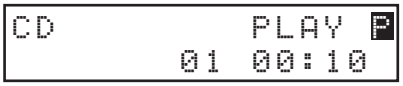
1. あらかじめ、本機の電源をタイマーの電源出力から取るように接続します。
2. 再生するカレントソースを選択します。（→ 19 ページ「再生するソースを選択する」）
3. 本体の SHIFT ボタンを押して、シフトモード（SHIFT インジケーター点灯）にし、2 [P.O.PLAY] ボタンを押して、パワーオンプレー機能をオンに設定します。（初期値：オフ）またはリモコンの P.O.PLAY ボタンを押します。



4. 本機の POWER スイッチをオンの状態のまま、タイマー側で電源をオフにし、希望の時刻にタイマーがオンになるようにセットします。
   希望の時刻になると本機の電源が入り、自動的に再生を始めます。

メモ

- パワーオンプレー機能の設定がオンのとき、ホーム画面に P アイコンが表示されます。



- パワーオンプレー機能のオン／オフ設定は、電源をオフにしても保持されます。

リジューム再生機能を使う

リジューム再生機能をオンにすると、前回再生を停止した位置（リジュームポイント）から再生を開始することができます。
リジュームポイントは、以下の操作を行うと消去されます。

- メディアを取り出す
- 再生対象を切り換える
- 再生対象が「フォルダー（ アイコン表示）」のときに電源をオフまたはスタンバイにする
- 再生モードをランダムにする
- カレントソースの内容を変更する（ダビング）

リジューム再生機能のオン／オフ設定は、メニューを使って行います。

1. Menu 画面の Resume Setting 項目を選択し、Resume Setting 画面を表示します。（→ 15 ページ「メニュー操作の手順」）



2. リジューム再生機能のオン／オフを設定します。
選択肢：OFF 、ON（初期値）

3. 設定を確定し、Menu 画面に戻ります。

メモ

- リジュームポイントが存在しない（リジュームポイントとして登録されている時間が存在しない）場合は、再生対象のトラックの先頭がリジュームポイントになります。
- リジューム再生機能のオン／オフ設定は、電源をオフにしても保持されます。

時間や文字情報の表示

カレントソースが CD ／ USB ／ SD のとき、本体の **DISPLAY** ボタンまたはリモコンの **DISPLAY/RDS/INFO [PAIRING]** ボタンを押すと、ホーム画面に表示される時間表示や文字情報の内容を選択することができます。
本体の **DISPLAY** ボタンまたはリモコンの **DISPLAY/RDS/INFO [PAIRING]** ボタンを押すたびに、表示情報の種類が切り換わります。
なお、カレントソースやセットしているメディアの種類や状態、および本機の動作状態によって、切り換わる表示情報の種類が異なります。

オーディオ CD

再生中／一時停止中は、「トラック経過時間 ➝ トラック残時間 ➝ 総トラック経過時間 ➝ 総トラック残時間 ➝」の間で表示する情報を切り換えることができます。

表示	内容
表示なし	トラック経過時間
TRK-R	トラック残時間
TOTAL	総トラック経過時間
TTL-R	総トラック残時間

データ CD ／ SD カード／ USB メモリー

再生中／一時停止中、および停止中は、「トラック経過時間 ➝ 再生中の曲のファイル名 ➝ 再生中の曲のタイトル名 ➝ 再生中の曲のアーティスト名 ➝ 再生中の曲のアルバム名 ➝ フォルダー名 ➝」の間で表示する情報を切り換えることができます。

表示	内容
表示なし	トラック経過時間
FILE	再生中の曲のファイル名
TITLE	再生中の曲のタイトル名
ARTIST	再生中の曲のアーティスト名
ALBUM	再生中の曲のアルバム名
FOLDER	フォルダー名

メモ

- ディスプレーに表示される文字情報は、データ CD の場合は ID3 ／ WMA タグ情報、SD カード／ USB メモリーでは ID3 ／ WMA ／ AAC タグ情報です。
  これらの情報がディスクやファイルに記録されていない場合は、「 TITLE: 」や「 ARTIST: 」のあとに何も表示されません。
  情報に表示できない文字が含まれている場合は、該当文字を「 * 」に置換して表示します。
- 表示内容の設定は、電源をオフにすると「表示なし」になります。
- Mac で書き込んだ SD カード／ USB メモリーでは、フォルダー内の曲数やトラック番号が一致しないことがあります。これは、Mac システムファイルに依存する問題ですが、本機での再生に影響はありません。
- トラック経過時間が「999:59」をこえた場合、「 999:59 」を表示し続けます。

第5章　Bluetooth機器の再生

本機では、Bluetooth（A2DP）に対応したパソコンやポータブルオーディオ機器など（Bluetooth 機器）からの音声を出力することができます。また、Bluetooth 機器が AVRCP に対応している場合は、本機の **PLAY(►)** ボタンなどで Bluetooth 機器の再生をコントロールできます。

ペアリング

Bluetooth 機器と通信を行うには、まず以下の手順でペアリングを行います。

メモ

ペアリングを行うには、Bluetooth 機器の操作も必要です。
操作方法は、お使いの Bluetooth 機器の取扱説明書をご覧ください。

1. BLUETOOTH をカレントソースに選択します。（→ 19 ページ「再生するソースを選択する」）
2. 本体の **BACK [PAIRING]** ボタンまたはリモコンの **DISPLAY/RDS/INFO [PAIRING]** ボタンを押し続けます。
   メッセージ「 PAIRING 」が点滅表示されます。

```
BLUETOOTH
    PAIRING
```

3. Bluetooth 機器を Bluetooth 通信状態に設定します。
4. Bluetooth 機器から、本機（CDP750_XXXX（XXXX は機体固有の4桁の 16 進数））を選択します。
   ペアリングに成功すると、ホーム画面に「 Connected 」と表示し、その機器と接続します。

```
BLUETOOTH
   Connected
```

メモ

- 古い Bluetooth 機器では、ペアリング時にパスキーを求められることがあります。その際は、0000 を入力してください。
- 2 分以内に接続が確立しない場合は、ペアリング動作を終了します。
- 本体の電源をオンにしたときに、自動的に前回接続した Bluetooth 機器に接続を試みます。このとき、対象の Bluetooth 機器の電源が入っていなかったり、Bluetooth がオフになっていたりして、2 分以内に接続できない場合はペアリングを中止します。

コントロール範囲

接続した Bluetooth 機器が AVRCP に対応している場合に、本体または付属のワイヤレスリモコン（RC-1336）で、Bluetooth 機器のコントロールが可能です。

本体	リモコン	動作
PALY ボタン（►）	► ボタン	再生
PAUSE(❚❚) ボタン	❚❚ ボタン	一時停止
STOP(■) ボタン	■ ボタン	停止
MULTI JOG ダイヤルを回す	⏮ ／ ⏭ [〈／〉] ボタン	トラック選択
◄◄ ／ ►► [FAST] ボタン	◄◄ ／ ►► ボタン	早戻し／早送りサーチ

注意

接続した Bluetooth 機器によっては、正常に動作しない場合があります。

Bluetooth 機器の再生

事前に Bluetooth 機器とのペアリングを行っておくことで、以下の操作で Bluetooth 機器から再生をすることができます。

1. BLUETOOTH をカレントソースに選択します。（→ 19 ページ「再生するソースを選択する」）
2. Bluetooth 機器から、CDP750_XXXX（XXXX は機体固有の4桁の 16 進数）を選択し接続します。
   接続すると、ホーム画面に「 Connected 」を表示します。

これで、本体または付属のワイヤレスリモコン（RC-1336）で、Bluetooth 機器のコントロール、および本機から Bluetooth 機器の再生音声出力が可能になります。

ペアリングの解除

現在接続されている Bluetooth 機器とのペアリングを解除します。

1. BLUETOOTH をカレントソースに選択します。（→ 19 ページ「再生するソースを選択する」）
2. 本体の **BACK [PAIRING]** ボタンまたはリモコンの **DISPLAY/RDS/INFO [PAIRING]** ボタンを押し続けます。
   メッセージ「 Disconnect? 」が表示されます。

```
BLUETOOTH
  Disconnect?
```

3. 本体の **MULTI JOG** ダイヤルまたはリモコンの **ENTER** ボタンを押すと、ペアリングを解除します。
   本体またはリモコンの **CLEAR** ボタンを押すと、ペアリングの解除を取り消します。
4. ペアリングが解除されたあと、ペアリング動作を開始します。

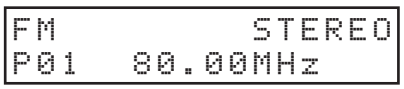
本機は、FM ／ AM ラジオを聴くことができます。
カレントソースに「 FM 」または「 AM 」が選択されていることを前提にしています。（→ 19 ページ「再生するソースを選択する」）

受信する放送局を選択する

受信周波数を変更する

周波数を変えるには

本体の **STOP(■)** ボタンまたはリモコンの ■ ボタンを押すと、周波数選択モード（プリセット番号が表示されていない状態）とプリセットモード（プリセット番号が表示されている状態）を切り換えます。
プリセットモードのとき、ホーム画面に「 PRE 」を表示します。



受信周波数を上げるには

周波数選択モードで本体の **MULTI JOG** ダイヤルを時計回りに回す、またはリモコンの ►►I [>] ボタンを押すと、受信周波数を 1 ステップ上げます。
周波数選択モードで本体の ►► **[FAST]** ボタンまたはリモコンの ►► ボタンを押すと、受信周波数の高い方へオートサーチします。

受信周波数を下げるには

周波数選択モードで本体の **MULTI JOG** ダイヤルを反時計回りに回す、またはリモコンの I◄◄ [<] ボタンを押すと、受信周波数を 1 ステップ下げます。
周波数選択モードで本体の ◄◄ **[FAST]** ボタンリモコンの ◄◄ ボタンを押すと、受信周波数の低い方へオートサーチします。

FM モードを設定する

本体の **SHIFT** ボタンを押して、シフトモード（**SHIFT** インジケーター点灯）にし、**8 [FM MODE]** ボタンを押すたび、またはリモコンの **FM MODE** ボタンを押すたびに、ステレオ受信とモノラル受信が切り換わります。



STEREO（ステレオ、初期値）

FM ステレオ放送をステレオで受信します。

- 受信状態が悪い場合は、MONO（モノラル）で受信してください。

MONO（モノラル）

FM 放送をモノラルで受信します。FM 放送の受信状態が悪いときにこのモードを選ぶと、音はモノラルになりますがノイズが減少し、聴きやすくなります。

メモ

受信する周波数を変更すると、モノラル受信モードが自動的に解除されます。

放送局をプリセットする

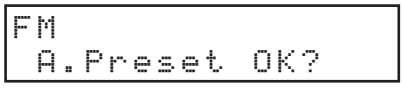
本機は、FM 局と AM 局のそれぞれ 20 局までプリセットすることができます。

メモ

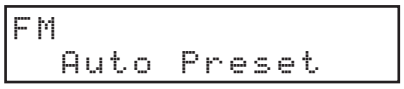
プリセットした放送局は、プリセットしたメモリーを消去しないかぎり、電源をオフにしても保持されます。（→ 30 ページ「プリセットしたメモリーを消去する」）

放送局を自動でプリセットする

1. プリセットするカレントソース（ FM ／ AM ）を選択します。（→ 19 ページ「再生するソースを選択する」）
2. 本体の **SHIFT** ボタンを押して、シフトモード（**SHIFT** インジケーター点灯）にし、**6 [A.PRESET]** ボタンを押す。またはリモコンの **PROGRAM** ボタンを押し続けます。
   ホーム画面に以下のメッセージが表示されます。



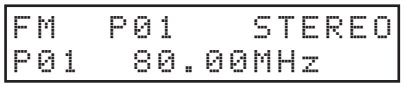
3. 本体の **MULTI JOG** ダイヤルまたはリモコンの **ENTER** ボタンを押すと、オートプリセットを開始します。



   自動的に放送局を探して、プリセット 01（P01）から順に放送局をセットします。プリセットが 20 を超えるか、受信周波数の範囲を探し終えると、オートプリセットを終了します。

放送局を手動でプリセットする

1. プリセットするカレントソース（ FM ／ AM ）を選択します。（→ 19 ページ「再生するソースを選択する」）
2. プリセットしたい放送局を受信します。（→ 29 ページ「受信周波数を変更する」）
3. 本体の **SHIFT** ボタンを押して、シフトモード（**SHIFT** インジケーター点灯）にし、**7 [M.PRESET]** ボタンを押す。またはリモコンの **PROGRAM** ボタンを押します。
   ホーム画面上段の「 P01 」が点滅します。



メモ

- 「 P01 」点滅は、一定時間を過ぎると消えます。
- 「 * 」が表示されているときは、すでにプリセットされています。

4. 本体の **MULTI JOG** ダイヤルを回して、またはリモコンの I◄◄ ／ ►►I [< ／ >] ボタンを押して、プリセットする番号を選択します。
5. 本体の **MULTI JOG** ダイヤルまたはリモコンの **ENTER** ボタンを押して、プリセットを確定します。

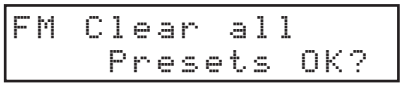
プリセットした放送局を選ぶ

- プリセットモードのときに本体の MULTI JOG ダイヤルを回して、またはリモコンの ∧ ／ ∨ ボタンを押して、プリセットした放送局を選びます。
- 本体またはリモコンの数字ボタンを使って、プリセット番号を直接入力してから ENTER ボタンを押すことで放送局を選択することもできます。

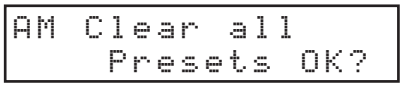
プリセットしたメモリーを消去する

1. メモリーを消去するカレントソース（ FM ／ AM ）を選択します。
（→ 19 ページ「再生するソースを選択する」）

2. 本体またはリモコンの CLEAR ボタンを押し続けます。
ホーム画面に以下のメッセージが表示されます。



[FM 局のプリセット消去時]



[AM 局のプリセット消去時]

3. 本体の MULTI JOG ダイヤルまたはリモコンの ENTER ボタンを押します。
カレントソースの全てのプリセットしたメモリーを消去し、ホーム画面に戻ります。

メモ

本体またはリモコンの CLEAR ボタンを押すと、プリセットしたメモリーの消去を取り消しホーム画面に戻ります。

チューナーの放送音声の出力先を設定する

チューナーの放送音声を TUNER OUT 端子のみから出力、または本機の全出力端子（TUNER OUT 端子／ LINE OUT 端子／ DIGITAL OUT 端子 (COAXIAL, OPTICAL) ／ PHONES 端子）から出力するかを設定することができます。

1. Menu 画面の Tuner Out Sel. 項目を選択し、Tuner Out Sel. 画面を表示します。（→ 15 ページ「メニュー操作の手順」）



2. チューナーの音声の出力先を設定します。

選択肢	内容
TUNER OUT	チューナーの放送音声を TUNER OUT 端子からのみ出力します。
ALL（初期値）	チューナーの放送音声を本機の全出力端子（TUNER OUT 端子／ LINE OUT 端子／ DIGITAL OUT 端子 (COAXIAL, OPTICAL) ／ PHONES 端子）から出力します。

3. 設定を確定し、Menu 画面に戻ります。

メモ

チューナーの音声の出力先設定は、電源をオフにしても保持されます。

本機のダビング（コピー）機能を使って、オーディオ CD の内容および FM ／ AM の放送を SD カード／ USB メモリーへダビングすることができます。そのときに、ダビング先のファイルフォーマットを変換することができます。

ダビングの概要

本機のダビングは、再生モードの設定に関わらず、オーディオ CD を連続再生しながら SD カード／ USB メモリーにダビングを行います。また、FM ／ AM の放送を SD カード／ USB メモリーにダビングすることができます。
ダビング操作によって既存のファイルが消去されることはありません。

メモ

SD カードと USB メモリーの両方を同時にダビングすることはできません。

ダビング先のファイルフォーマットについて

本機のダビングは、ダビング先に書き込むファイルフォーマットは、以下です。

- オーディオ CD からのダビング：
  MP3 ファイル（96k/128k/192k/320kbps）
- FM ／ AM からのダビング：
  MP3 ファイル（96k/128k/192kbps）

MP3 ファイルのビットレートの設定の詳細は、32 ページ「ダビングフォーマットの設定」を参照ください。

メモ

ダビングでは、ダビング先のメディアに **“DUBBING”** フォルダーを作成し、CD のトラックごとに **“RECXXX.mp3”**（**“XXX”** は 001 などの 3 桁の数字）というファイル名でファイルを作成します。

ダビング中の動作について

本機がダビング中、以下のような動作になります。

- ダビング以外の操作はできません。
- ダビング中は、ダビングしている CD の音声が出力されます。DUB AutoMute 項目を ON にすることで、出力しないようにすることができます。（→ 32 ページ「ダビング時のアナログ出力をミュートする」）
- ダビング中は、SD カード／ USB メモリーの再生はできません。
- ダビング時の CD 再生は、再生モードの設定に関わらず、連続再生モードで行います。

メモ

- ダビングに使用する SD カード／ USB メモリーによっては、記録が音声入力に対して間に合わず、エラーになる場合があります。
- オーディオ CD をコピー元とする場合は、トラック間で音声が続いているトラックをダビングすると、トラック間に無音部分が発生します。
- 録音時の最大ファイルサイズは 2GB です。ファイルサイズが 2GB になるとダビングを終了します。

SD カード／ USB メモリーの内容をソースとしたダビングの場合

本機のダビングは、CD ／ FM ／ AM をソースとしたダビングのみ可能です。データ CD ／ SD カード／ USB メモリー／ Bluetooth ／ AUX 入力の内容をソースとしたダビングはできません。

ダビング先メディアがライトプロテクトされている状態の場合

ホーム画面に「 Can not DUB 」と表示され、ダビングが開始されません。**CLEAR** ボタンまたは **STOP(■)** ボタンを押すと、操作前の表示に戻ります。

ダビング先の空き容量がない場合

ホーム画面に「 Media Full 」と表示され、ダビングが開始されません。**CLEAR** ボタンまたは **STOP(■)** ボタンを押すと、操作前の表示に戻ります。
また、ダビング中にダビング先の空き容量がなくなったときは、ホーム画面に「 Media Full 」と表示し、ダビングを中止します。**CLEAR** ボタンまたは **STOP(■)** ボタンを押すと、操作前の表示に戻ります。

ダビングする

1. コピー元となるオーディオ CD をセットする、またはダビングするラジオの周波数を選局しておきます。
2. コピー元のカレントソース（ CD ／ FM ／ AM ）を選択します。（→ 19 ページ「再生するソースを選択する」）
3. 停止中に、本体の **SHIFT** ボタンを押して、シフトモード（**SHIFT** インジケーター点灯）にし、**0 [DUB]** ボタンを押して、ダビングモードにします。またはリモコンの **DUB** ボタンを押します。

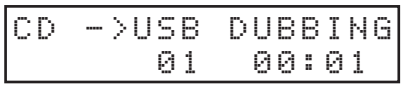


4. 本体の **MULTI JOG** ダイヤルを回して、またはリモコンの ⏮ ／ ⏭ [〈／〉] ボタンを押して、ダビング先のメディア名（USB ／ SD）を選択します。

メモ

- 何もせずに 5 秒経つと、ホーム画面に戻ります。
- SD カードと USB メモリーの両方を同時にダビングすることはできません。

5. 本体の **SHIFT** ボタンを押して、シフトモード（**SHIFT** インジケーター点灯）にし、本体の **0 [DUB]** ボタンを押して、ダビングを開始します。またはリモコンの **DUB** ボタンを押します。



メモ

- ダビング先メディアがライトプロテクトされている状態の場合は、メッセージ「 Can not DUB 」が表示されます。本体またはリモコンの **CLEAR** ボタンを押すと、メッセージを消去しホーム画面に戻ります。
- ダビング先の空き容量がない場合は、メッセージ「 Media Full 」が表示されます。本体またはリモコンの **CLEAR** ボタンを押すと、メッセージを消去しホーム画面に戻ります。また、ダビング中にダビング先の空き容量がなくなったときは、メッセージ「 Media Full 」が表示され、ダビングを中止します。本体またはリモコンの **CLEAR** ボタンを押すと、メッセージを消去しホー

ム画面に戻ります。

6. ダビングを終了するには、本体の **STOP(■)** ボタンまたはリモコンの ■ ボタンを押します。
メッセージ「 Complete 」を表示し、ホーム画面に戻ります。
カレントソースが CD のときは、CD の最終トラックまでダビングを終えると自動的に停止します。

メモ

- ダビングによって作成されるフォルダーおよび音楽ファイルの日時情報は固定で、現在の日時とは異なります。
- トラック経過時間が「999:59」をこえた場合、「 999:59 」を表示し続けます。

ダビング時のアナログ出力をミュートする

録音（ダビング）中にダビングしている音を接続している機器に出力しないよう、**LINE OUT 端子**の出力をミュートすることができます。

1. Menu 画面の DUB AutoMute 項目を選択し、DUB AutoMute 画面を表示します。（→ 15 ページ「メニュー操作の手順」）



2. ダビング時のミュート機能のオン／オフを設定します。
選択肢： OFF（初期値）、ON
3. 設定を確定し、Menu 画面に戻ります。

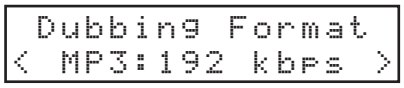
メモ

ダビング時のミュート機能のオン／オフ設定は、電源をオフにしても保持されます。

ダビングフォーマットの設定

ダビングフォーマットを設定します。

1. Menu 画面の Dubbing Format 項目を選択し、MP3 Bit rateDubbing Format 画面を表示します。（→ 15 ページ「メニュー操作の手順」）



2. ダビングフォーマットを設定します。
選択肢： 96 kbps 、128 kbps 、192 kbps（初期値）、320 kbps
3. 設定を確定し、Menu 画面に戻ります。

メモ

- ダビングフォーマットの設定は、電源をオフにしても保持されます。
- カレントソースが FM ／ AM で、ダビングフォーマット設定が 320 kbps のとき、ビットレートを自動的に 192 kbps に落としてダビングされます。

ダビングによる記録時間について

各ファイルフォーマットにおける、SD ／ SDHC カード、USB メモリー容量別のダビングによる記録時間を以下の表に示します。

ファイルフォーマット（ダビング時の設定）			SD ／ SDHC カード、USB メモリー容量				
			4GB	8GB	16GB	32GB	64GB
MP3（STEREO）	96kbps	44.1kHz	92 時間 35 分	185 時間	370 時間	740 時間	1481 時間
	128kbps	44.1kHz	69 時間 26 分	138 時間	277 時間	555 時間	1111 時間
	192kbps	44.1kHz	46 時間 17 分	92 時間 35 分	185 時間	370 時間	740 時間
	320kbps	44.1kHz	27 時間 46 分	55 時間 33 分	111 時間	222 時間	444 時間

- 上記記録時間は目安です。ご使用の SD ／ SDHC カード、USB メモリーにより異なる場合があります。
- 上記記録時間は連続記録時間ではなく、SD ／ SDHC カード、USB メモリーに可能な記録合計時間です。

オートパワーセーブ機能の設定

オートパワーセーブ機能をオンにすると、以下の状態が続いたときスタンバイ状態になります。

- カレントソースが CD ／ USB ／ SD のとき、停止状態または再生待機状態が 30 分間続いたとき。
- カレントソースが BLUETOOTH のとき、ペアリングされていない状態が 30 分間続いたとき。
- カレントソースが AUX のとき、入力信号の有無にかかわらず使用時間が 8 時間続いたとき。

メモ

- スタンバイ状態では、ディスプレーが消灯になり、DUB インジケーターと SHIFT インジケーターが点灯します。
- カレントソースが FM ／ AM のときは、オートパワーセーブ機能がオンになっていても、スタンバイ状態になりません。

1. Menu 画面の APS Setting 項目を選択し、APS Setting 画面を表示します。（→ 15 ページ「メニュー操作の手順」）



2. オートパワーセーブ機能のオン／オフを設定します。
   選択肢：OFF（初期値）、ON
3. 設定を確定し、Menu 画面に戻ります。
   スタンバイ状態から復帰するには、何れかのボタンを押します。

メモ

スタンバイ状態で POWER スイッチを押すと、電源がオフになります。スタンバイから復帰する場合は他のボタンを押してください。

アナログ出力レベルを調節する

本機の出力先の機器にて最大出力レベル時に音が歪む場合は、本機のアナログ出力レベル機能で出力レベルを絞ることで音が歪まないように調節することができます。

1. Menu 画面の A.Out Att. 項目を選択し、A.Out Att. 画面を表示します。（→ 15 ページ「メニュー操作の手順」）



2. アナログ出力のレベルを設定します。
   選択肢：OFF 、-1dB ～ -18dB（初期値：OFF 、1dB 刻み）
3. 設定を確定し、Menu 画面に戻ります。

メモ

- LINE OUT 端子および PHONES 端子の出力のレベルが変わります。個別に設定することはできません。
- AUX IN 端子からの入力信号については、アナログ出力レベルを調節することはできません。

AUX IN 端子を使う

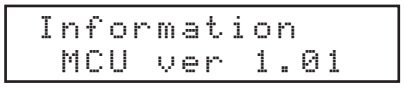
AUX IN 端子を使って、携帯音楽プレーヤーなどの再生が可能です。

1. AUX IN 端子に外部機器（携帯音楽プレーヤーなど）を接続します。
2. AUX をカレントソースに選択します。（→ 19 ページ「再生するソースを選択する」）
3. 外部機器の再生ボタンを押して、再生を開始します。

ファームウェアバージョンを確認

本機のシステムファームウェアバージョンを確認することができます。

1. Menu 画面の Information 項目を選択し、ファームウェアバージョン確認画面を表示します。（→ 15 ページ「メニュー操作の手順」）

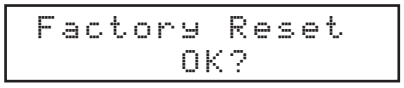


   ファームウェアバージョン確認画面には、システムのファームウェアバージョン情報が表示されます。
2. 本体の MULTI JOG ダイヤルまたはリモコンの ENTER ボタンを押して、設定を確定し Menu 画面に戻ります。

出荷時の設定に戻す

本機のバックアップメモリーに保存されている各設定情報を工場出荷時の状態に戻すことができます。
以下のメニュー操作を行います。

1. Menu 画面の Factory Reset 項目を選択します。（→ 15 ページ「メニュー操作の手順」）
2. 本体の MULTI JOG ダイヤルまたはリモコンの ENTER ボタンを押します。
   確認メッセージが表示されます。



メモ

中止するには、本体の CLEAR ボタンを押します。

3. 再度本体の MULTI JOG ダイヤルまたはリモコンの ENTER ボタンを押して、工場出荷時の状態に戻します。
   電源を入れ直してください。

第9章　トラブルシューティング

本機の動作がおかしいときは、修理を依頼する前にもう一度、下記の点検を行ってください。
それでも改善しないときは、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご連絡ください。

電源が入らない。

- 電源プラグなどがしっかりと差し込まれているか確認してください。

メディアを認識しない。

- SD カード／ USB メモリーがしっかりと挿入されているか確認してください。
- 再生や録音を一度停止してください。

再生できない。

- WAV ファイルの場合は、本機が対応しているサンプリング周波数（44.1k/48kHz）と量子化数（16 ビット）であるかどうかを確認してください。
  MP3 ファイルの場合は、本機が対応しているサンプリング周波数（44.1k/48kHz）とビットレート（32kbps ～ 320kbps または VBR）であるかどうかを確認してください。

CD を再生できない。

- MP3 ファイルを収録したデータ CD の場合は、本機が対応しているビットレートであるかどうかを確認してください。
- ディスクに傷や汚れが付いていませんか？

SD カード／ USB メモリーにて、全曲再生できない。

- フォルダー再生モードになっていませんか？

音が出ない。

- モニターシステムとの接続をもう一度確認してください。また、アンプの音量を確認してください。

雑音がする。

- 接続ケーブルが接触不良になっていないか、確認してください。

リモコン（RC-1336）から操作できない。

- リモコンの電池が入っていないか、消耗していませんか？

ディスプレーが表示されない／暗い。

- ディスプレーの輝度設定が「暗い」状態になっていませんか？（→ 17 ページ「ディスプレーの輝度調節する」）

音が途切れる、または雑音がする。

- 無線 LAN や他の Bluetooth 機器、電子レンジなどが近くにありませんか？
  なるべくそれらの機器から離してご使用ください。
- Bluetooth 機器と本機の距離を近付けてご使用ください。また、Bluetooth 機器や本機の位置を変えてください。
- スマートフォンで音楽再生以外のアプリケーションが動作している場合は音が途切れる場合があります。その場合は音楽再生以外のアプリケーションの動作を止めてください。

接続ができない、あるいは、通信が途切れる。

- Bluetooth 機器の電源が入っているか、Bluetooth がオンになっているか確認してください。
- Bluetooth 機器との距離が離れすぎていませんか？
  あるいは、間に壁や障害物などでさえぎられていませんか？
  Bluetooth 機器が本体の後面側にある場合、本機自身でさえぎっていることも考えられます。
  Bluetooth 機器や本機の位置を変えてください。
- 本機の電源を切り、再度本機の電源をオンにしてください。
- Bluetooth 機器の「CDP750_XXXX(XXXX は機体固有の 16 進数の番号)」の登録を解除し、28 ページ「ペアリング」の操作を行ってください。

ペアリングができない。

- 接続したい Bluetooth 機器が A2DP および AVRCP に対応しているか確認してください。
- 接続したい Bluetooth 機器の通信が可能な状態になっているか確認してください。詳しくは、お使いの Bluetooth 機器の取扱説明書をご確認ください。
- 本機と Bluetooth 機器の電源を一度切り、再び電源を入れてペアリングを試してください。
- ペアリングしようとする Bluetooth 機器以外の Bluetooth 機器の電源を切ってください。
- Bluetooth 機器側の「CDP750_XXXX(XXXX は機体固有の 16 進数の番号)」の登録を一度削除したあと、再度ペアリングしてください。

ラジオを受信できない、あるいは受信状態が悪い。

- 放送局を選局してください。
- 受信状態が悪いときは、アンテナを張り直してみてください。
- テレビが近くにあるときは、テレビの電源をオフにしてください。
- 鉄筋コンクリートの建物の中や地下室などでは、受信状態が悪くなります。本体やアンテナを建物の外に面した窓際などに設置してください。

FM 放送受信がステレオ放送なのにモノラルになる

- FM モードの設定がモノラル受信になっていませんか？

定格

対応メディア

CD、CD-R、CD-RW（12cm、ISO9660 LEVEL 1/2/JOLIET、マルチセッションおよびCDテキスト非対応、CD-RW*はCD-DAフォーマットのみ対応）
SDカード*（512MB～2GB）
SDHCカード*（4GB～32GB）
USBメモリー*（512MB～64GB）

＊ メディアは、FAT16/32でフォーマットされている必要があります。

再生ファイル形式

CD-DA：44.1kHz、16bitステレオ
WAV*：44.1k/48kHz、16bit
（LPCM　SDカード／USBメモリー）
MP3*：44.1k/48kHz、32kbps～320kbps、VBR
（MPEG1/2 Audio Layer-3、データCD／SDカード／USBメモリー）
AAC*：44.1k/48kHz、8kbps～320kbps、VBR
（MPEG4 AAC-LC（Audio stream）、DRM非対応、SDカード／USBメモリー）
WMA*：44.1k/48kHz、32kbps～320kbps、VBR（WMA ver.9 standard、DRM非対応、データCD／SDカード／USBメモリー）

＊ ファイル／フォルダーの仕様は、以下です。

最大ファイルサイズ：2GB
最大ファイル数：300（フォルダー含む）
1フォルダー内の最大ファイル数：100
最大フォルダー数：50
再生可能フォルダー階層：16
（階層ただしフルパスがファイル名を含み260字以内）

チャンネル数

2チャンネル（ステレオ）
1チャンネル（モノラル）

ダビングのファイル形式

MP3：44.1kHz、96k/128k/192k/320kbps
（チューナー時は96k/128k/192kbps）
最大ファイルサイズ：2GB

入出力定格

アナログオーディオ入出力定格

AUX IN端子（フロントパネル）

コネクター：3.5mmステレオミニジャック
基準入力レベル：－20dBV（0.1Vrms）
最大入力レベル：－4dBV（0.63Vrms）
入力インピーダンス：10kΩ以上

LINE OUT端子

コネクター：RCAピンジャック
規定出力レベル：
－10dBV（0.316Vrms、アナログ出力レベル設定：OFF時）
最大出力レベル：
+6dBV（2.0Vrms、アナログ出力レベル設定：OFF時）
出力インピーダンス：200Ω

TUNER OUT端子

コネクター：RCAピンジャック
規定出力レベル：－10dBV（0.316Vrms）
最大出力レベル：+6dBV（2.0Vrms）
出力インピーダンス：200Ω

PHONES端子

コネクター：φ6.3mm（1/4"）ステレオ標準ジャック
最大出力：20mW＋20mW以上
（THD+N 0.1%以下、32Ω負荷）

DIGITAL OUT端子

OPTICAL端子

コネクター：オプティカル
対応信号フォーマット：IEC-60958-3民生用規格準拠（S/PDIF）

COAXIAL端子

コネクター：RCAピンジャック
対応信号フォーマット：IEC-60958-3民生用規格準拠（S/PDIF）
出力インピーダンス：75Ω
出力レベル：0.5Vp-p

オーディオ性能

周波数特性

20Hz－20kHz：±1.0dB（Fs＝44.1k/48kHz、CD／SD／USB再生時 ➝ アナログ出力、JEITA）

歪率

0.005%以下
（CD／SD／USB再生時 ➝ アナログ出力、JEITA）

S/N比

95dB以上
（CD／SD／USB再生時 ➝ アナログ出力、JEITA）

ダイナミックレンジ

90dB以上
（CD／SD／USB再生時 ➝ アナログ出力、JEITA）

チャンネルセパレーション

90dB以上
（CD／SD／USB再生時 ➝ アナログ出力、JEITA）

Bluetooth部

Bluetoothバージョン：5.1
出力クラス：Class 1（見通し通信距離：約10m*）
対応プロファイル：A2DP、AVRCP 1.0
対応A2DPコーデック：SBC、AAC、
Qualcomm®aptX™ HD audio、
Qualcomm®aptX ™ audio
対応A2DPコンテンツ保護：SCMS-T

＊ 通信距離は目安です。周囲の環境や電波状況により通信距離は変わる場合があります。

第10章　仕様

チューナー

受信周波数

FM：76.0MHz ～ 108.0MHz
AM：522kHz ～ 1,629kHz

アンテナ端子

FM 用：F 型（メス）
AM 用：2 ピン プッシュターミナル

一般

電源

AC 100-240V、50/60Hz

消費電力

20W

外形寸法

446.2 x 58.8 x 297.1mm（幅 x 高さ x 奥行き、突起部を含む）

質量

3.6kg

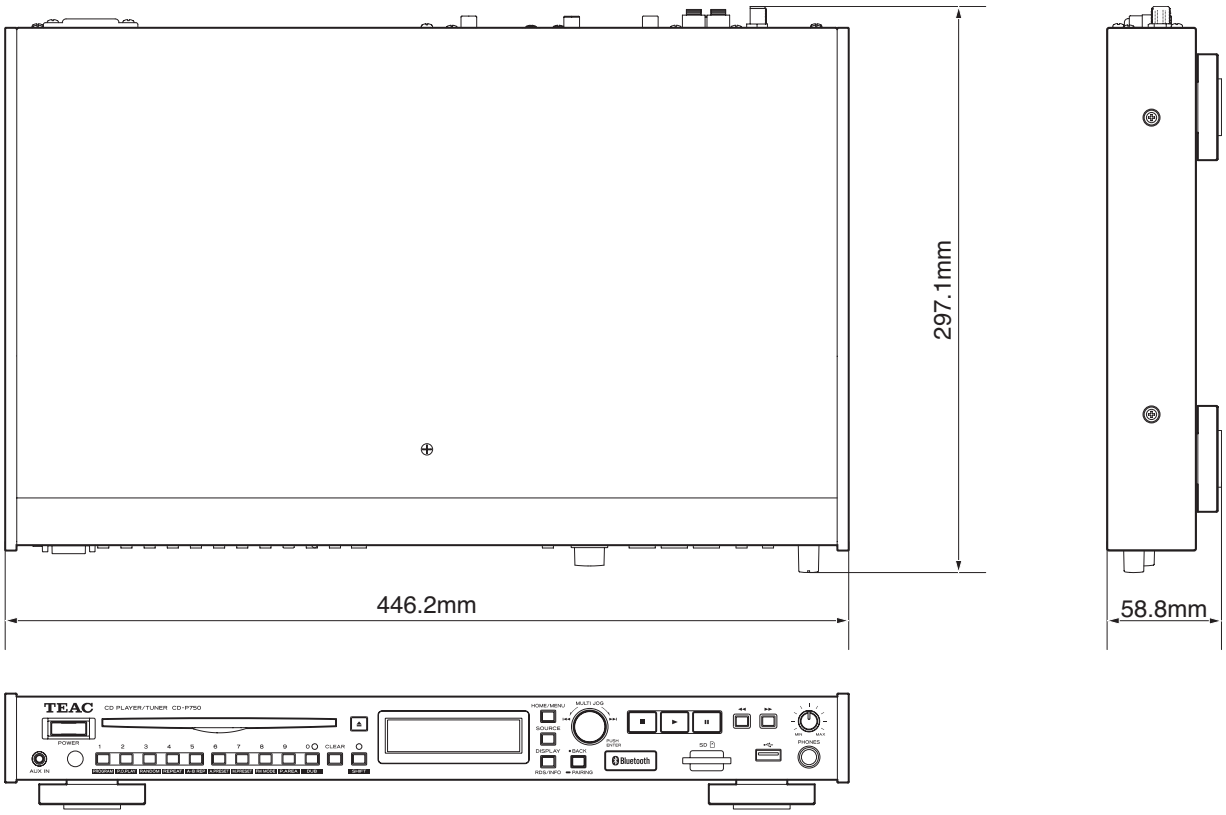
動作温度

5 ～ 35℃

設置時傾斜

30 度以内

寸法図



- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
- 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。

■ 保証書

取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。保証書は、お買い上げの際に販売店が所定事項を記入してお渡ししておりますので、大切に保管してください。万が一販売店印の捺印やご購入日の記載が無い場合は、無償修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店・ご購入日が確認できるものを一緒に保管してください。保証期間はお買い上げ日より 1 年です。

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品) を製造打ち切り後 6 年間保有しています。

■ ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載) にお問い合わせください。

■ 修理を依頼されるときは

34 ページ「第 9 章　トラブルシューティング」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載) にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害 (録音内容などの補償) の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料：　故障した製品を正常に修復するための料金です。
　　測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。
部品代：　修理に使用した部品代金です。
　　その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
その他：　製品を送るために必要な送料 / 梱包料などがあります。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：CD PLAYER /TUNER
　　CD-P750
シリアルナンバー：
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況 (できるだけ詳しく)

■ 廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止
この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

保証書

品名および形名	CD PLAYER /TUNER CD-P750	
機番		
保証期間	本体	1年

お買上げ日	年　月　日	
お客様	お名前	様
	ご住所	〒 電話　（　）

見本

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買上げの販売店に修理をご依頼ください。

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので　ご了承ください。

販売店	住所・名称（印） 電話　（　）

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、ティアック修理センターが無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。
   無償修理の対象は、お客さまが日本国内において購入された日本国内向け当社製品に限定されます。
3. ご転居、ご贈答品等でお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。
4. 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
   (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
   (2) お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
   (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
   (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷
   (5) 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
   (6) メンテナンス
   (7) 本書の提示がない場合
   (8) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名（印）の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間についての詳細は、取扱説明書をご覧ください。

ティアック株式会社　〒206-8530　東京都多摩市落合 1-47　https://teac.jp/jp

この製品のお取り扱い等についてのお問い合わせ
AV お客様相談室 〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47
042-356-9235 携帯電話、IP 電話をご利用の場合
0570-000-701 ナビダイヤル® 固定電話をご利用の場合
FAX：042-356-9242
受付時間は、10:00 ～ 12:00/13:00 ～ 17:00 です。
（土・日・祝日・弊社指定休日を除く）

故障・修理や保守についてのお問い合わせ
ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田 858
04-2901-1033 携帯電話、IP 電話をご利用の場合
0570-000-501 ナビダイヤル® 固定電話をご利用の場合
FAX：04-2901-1036
受付時間は、9:30 ～ 12:00/13:00 ～ 17:00 です。
（土・日・祝日・弊社指定休日を除く）

● 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

0922.MA-3403A